

医学部自己点検・評価報告書

基準4	教育課程・学習成果
-----	-----------

1. 自己点検・評価結果（評定）

※自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入。

A：ほぼ完全にできている（90点以上）、B：合格点だが改善の余地あり（60～90点）

C：もう少しで及第点（40～60点）、D：全くできていないか抜本的な改善が必要（0～40点）

2023（令和5）年度		
項目 No.	点検・評価項目 評価の視点	自己 評価
411	①授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。 ○課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針の適切な設定（授与する学位ごと）及び公表 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ・DP（ディプロマ・ポリシー）を定めホームページで学内外に公表している。（資料411-1） ・DPについては、それぞれ2要素からなる7分野の学修成果（アウトカム）が具体的に明示されている。（資料411-1） ・建学の理念「国際的交流に基づく医学・看護学研究」を具現化するために医学部のディプロマ・ポリシーには「医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。」(VI-2)を掲げている。（資料411-1） ・ミッションカード（建学の精神、建学の理念、医学部教育理念、DP、CPを掲載）を作成し、教職員が携帯することにより、その理解を深めている。（資料411-2）	A
412	②授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。 ○下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定（授与する学位ごと）及び公表 ・教育課程の体系、教育内容 達成： ・教育課程の体系、教育内容はCP（カリキュラム・ポリシー）に基づき策定しており、ホームページで学内外に公表している。（資料412-1） ・学生の主体的な学びを促進するため、反転授業・ディスカッション・ディベート・グループワーク・実習・フィールドワーク・プレゼンテーション等の要素を含むアクティブ・ラーニング型授業を各学年で取り入れている。（資料412-2） ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成：	A

2022（令和4）年度		
項目 No.	点検・評価項目 評価の視点	自己 評価
411	①授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。 ○課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針の適切な設定（授与する学位ごと）及び公表 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ・DP（ディプロマ・ポリシー）を定めホームページで学内外に公表している。（資料411-1） ・DPについては、それぞれ2要素からなる7分野の学修成果（アウトカム）が具体的に明示されている。（資料411-1） ・建学の理念「国際的交流に基づく医学・看護学研究」を具現化するために医学部のディプロマ・ポリシーには「医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。」(VI-2)を掲げている。（資料411-1） ・ミッションカード（建学の精神、建学の理念、医学部教育理念、DP、CPを掲載）を作成し、教職員が携帯することにより、その理解を深めている。（資料411-2）	A
412	②授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。 ○下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定（授与する学位ごと）及び公表 ・教育課程の体系、教育内容 達成： ・教育課程の体系、教育内容はCP（カリキュラム・ポリシー）に基づき策定しており、ホームページで学内外に公表している。（資料412-1） ・学生の主体的な学びを促進するため、反転授業・ディスカッション・ディベート・グループワーク・実習・フィールドワーク・プレゼンテーション等の要素を含むアクティブ・ラーニング型授業を各学年で取り入れている。（資料412-2） ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成：	A

	<ul style="list-style-type: none"> ・必修・選択の別、単位数、授業形態については「学生生活のしおり」「シラバス」に明示している。(資料 412-3~7) ・CP に学修成果の評価の方針が明示されていなかったため、見直しを行った。(改正日：2022 (令和 4) 年 4 月 1 日) (資料 412-8) ・CP は、DP と関連した体系性と整合性が担保されたカリキュラムを編成し、実施するための方針としている。また、アウトカム基盤型教育の基本となる適切な学修成果を獲得するために、科目別試験、総合試験及び医療系大学間共用試験等により公平・公正に評価する方針も明記している。(資料 411-1) 	
	<p>○教育課程の編成・実施方針と学位授与方針との適切な関連性 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CP は7つ定め、7項目それぞれについてDP との関連を明確に表示している。(資料 411-1) ・教育課程はCP に則した科目が体系的に配置され、一貫性が保たれている。(資料 412-9) <p>対応：</p> <p>◆411・412 継続 DP、CP また AP (アドミッション・ポリシー) は、教育の質保証、教育改善の PDCA サイクルの起点であるため、定期的な点検・評価と見直しを行っていく。</p>	A
413	<p>③教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。</p> <p>○各学部・研究科において適切に教育課程を編成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性 <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学生生活のしおり」「シラバス」に当該年度に開講する科目の一覧を掲載するとともに、各授業科目の配当年次を明記しており、カリキュラムの順次性を確保している。(資料 412-3~7) ・CP 及び医学教育モデル・コア・カリキュラムに示された知識・技能を確実に修得し、高度化・細分化する医学・医療や社会のニーズに対応できるよう、臓器・器官系を基盤とする科目、臨床の課題・症例を基盤とする科目等を組み合わせた教育課程となっている。(資料 412-4~5) <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮 <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年から高学年までオーバーラップしながら、高い見識や倫理観、国際的視野等を身に付けつつ医学を学修することができる、いわゆる「くさび型教育カリキュラム」を展開しており、基本的な医学知識の修得から診療参加型臨床実習に至るまで段階的かつ連続的なカリキュラムが編成されている。(資料 413-1) 	A

	<ul style="list-style-type: none"> ・必修・選択の別、単位数、授業形態については「学生生活のしおり」「シラバス」に明示している。(資料 412-3~7) ・CP に学修成果の評価の方針が明示されていなかったため、見直しを行った。(改正日：2022 (令和 4) 年 4 月 1 日) (資料 412-8) 	
	<p>○教育課程の編成・実施方針と学位授与方針との適切な関連性 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：</p> <p>CP は7つ定め、7項目それぞれについてDP との関連を明確に表示している。(資料 411-1)</p> <p>◆411・412 継続 DP、CP また AP (アドミッション・ポリシー) は、教育の質保証、教育改善の PDCA サイクルの起点であるため、定期的な点検・評価と見直しを行っていく。</p>	A
413	<p>③教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。</p> <p>○各学部・研究科において適切に教育課程を編成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性 <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学生生活のしおり」「シラバス」に当該年度に開講する科目の一覧を掲載するとともに、各授業科目の配当年次を明記しており、カリキュラムの順次性を確保している。(資料 412-3~7) ・教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮 <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年から高学年までオーバーラップしながら、高い見識や倫理観、国際的視野等を身に付けつつ医学を学修することができる、いわゆる「くさび型教育カリキュラム」を展開しており、基本的な医学知識の修得から診療参加型臨床実習に至るまで段階的かつ連続的なカリキュラムが編成されている。(資料 413-1) ・授業科目間の関係性や配当年次を示す履修系統図(カリキュラムツリー)の策定と明示。(資料 413-2) ・授業科目とDP の関係性を示したカリキュラムマップの策定と明示。(資料 413-3) 	B

<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目間の関係性や配当年次を示す履修系統図（カリキュラムツリー）の策定と明示。（資料 412-9） ・授業科目とDPの関係性を示したカリキュラムマップの策定と明示。（資料 413-2） ・学修の段階や順序等を表し教育課程の体系性を明示する科目ナンバリングの策定と明示。（資料 413-3） ・DPの達成に至るまでの過程を示したコンピテンシー・マイルストーンの設定（資料 413-4） <p>対応：</p> <p>医学部教育関係委員会の組織改編を行い、2024（令和6）年度から医学部教育プログラム評価委員会において、学生委員の意見を参考にしながら、コンピテンシー・マイルストーンの検証や、それに沿った知識・技能及び態度の評価方法の構築を図る。（資料 413-5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業期間の適切な設定 達成： 学生がより集中的かつ効果的に学習することを促すために Semester 制を導入している。（資料 412-3：P21） ・単位制度の趣旨に沿った単位の設定 達成： 学則第 16 条に「医学部における各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を教室内及び教室外を合わせて 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により計算するものとする。(1) 講義及び演習については、15～22 時間の授業をもって 1 単位とする。(2) 実験、実習及び実技については、30～44 時間の授業をもって 1 単位とする」と定めている。（資料 413-6） ・個々の授業科目の内容及び方法 達成： 複雑で多岐にわたる分野を統合的に理解し、臨床へ応用していくために、第 2 学年で「基礎統合演習」を開設し基礎医学の分野間の水平的統合を組み入れ、グループワークを含む演習形式の講義を展開している。また、第 4 学年に基礎医学と臨床医学の間の垂直的統合を組み入れた「臨床推論演習Ⅰ～Ⅲ」を開設している。（資料 413-7～9） <p>対応：</p> <p>各臓器の病態、診断、治療について効果的な教育を実現するため、2024（令和6）年度から、第 3 学年において臓器別のブロック制授業を導入する。（資料 413-10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の位置づけ（必修、選択等） 達成： ・「講義シラバス」「講義シラバス別冊」「学生生活のしおり」に明示している。（資料 412-3～5） ・進級、卒業のために履修すべき授業科目は全て必修科目・選択必修科目であるため、学生全員に平等なカリキュラムが提供されている。また、教育プロ
--

<ul style="list-style-type: none"> ・学修の段階や順序等を表し教育課程の体系性を明示する科目ナンバリングの策定と明示。（資料 413-4） ・DPの達成に至るまでの過程を示したコンピテンシー・マイルストーンの設定（資料 413-5） <p>未達： コンピテンシー・マイルストーンに沿った知識・技能及び態度の評価方法の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業期間の適切な設定 達成： 学生がより集中的かつ効果的に学習することを促すために Semester 制を導入している。（資料 412-3：P21） ・単位制度の趣旨に沿った単位の設定 達成： 学則第 16 条に「医学部における各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を教室内及び教室外を合わせて 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により計算するものとする。(1) 講義及び演習については、15～22 時間の授業をもって 1 単位とする。(2) 実験、実習及び実技については、30～44 時間の授業をもって 1 単位とする」と定めている。（資料 413-6） ・個々の授業科目の内容及び方法 達成： 関連づけられた総合的な理解を導くために基礎医学の分野間の水平的統合と基礎医学と臨床医学の間の垂直的統合を意図したカリキュラム調整が進められている。（資料 412-4） ・授業科目の位置づけ（必修、選択等） 達成： ・「講義シラバス」「講義シラバス別冊」「学生生活のしおり」に明示している。（資料 412-3～5） ・進級、卒業のために履修すべき授業科目は全て必修科目・選択必修科目であるため、学生全員に平等なカリキュラムが提供されている。また、教育プログラムとして、中核となる必修科目だけでなく選択科目も必修科目との配分を考慮して設定されている。（資料 412-3：P27-34） <p>◎ICTを活用した授業の展開（双方向型授業の展開や自主学習支援）</p> <p>達成： COVID-19 感染拡大に伴う遠隔授業環境下でも、医学部の教育目標を十分に達成できるように、多くの科目で学習・授業支援システム（LMS）が活用されている。（資料 413-7）</p>

<p>グラムとして、中核となる必修科目だけでなく選択科目も必修科目との配分を考慮して設定されている。(資料 412-3 : P27-35)</p> <p>◎ ICTを活用した授業の展開 (双方向型授業の展開や自主学習支援)</p> <p>達成 :</p> <p>COVID-19の影響により遠隔授業から対面授業に切り替わった後も、多くの科目で学習・授業支援システム(LMS)を活用し、学生の自主学習を効果的に支援している。また、学生の学修支援をさらに促進するためにPlus-DX事業の一環として、LMSをオープンソースのMoodleに更新した。(資料 413-11)</p>	<p>・各学位課程にふさわしい教育内容の設定</p> <p><学士課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年次教育、高大接続への配慮 ・教養教育と専門教育の適切な配置 <p><修士課程、博士課程></p> <p>コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等</p> <p>達成 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学で主体的・積極的に学ぶために必要な技法や、論理的に考えて話す、記述する方法について学ぶ「スタディ・スキルズ」を初年次教育科目として開講している。(資料 413-12) ・教養教育と専門教育が適切に配置されている。(資料 412-1) ・学生のリサーチ・マインドを涵養することを目的として、2学次に「医学研究実習(ベーシック)」、3年次に「医学研究実習(アドバンスド)」を開講し、これまで2週間だった期間を4週間に拡充した。また、1~6年次には「医学研究室配属(自由選択科目)」を開講し医学研究に関する実践的教育を展開している。(資料 413-13~15) ・「医学研究室配属」に連動した「医学研究科研究医養成プログラム」の制度が設けられている。(資料 413-16) <p>対応 :</p> <p>リサーチ・マインドの涵養を更に促すため、「医学研究実習(ベーシック・アドバンスド)」の期間を現行の4週間から、2024(令和6)年度には6週間に拡充する。(資料 413-17)</p> <p>・教育課程の編成における全学内部質保証推進組織等の関わり</p> <p>達成 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成については、教学マネジメント委員会において全学的観点から方向性が確認され、その後、各学部、各研究科で具体的な教育課程の編成について検討が行われ、当該教授会の議を経て教学マネジメント委員会に報告されている。(資料 413-18~19) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長(学長諮問会議)に提言され
---	--

A

	<p>・各学位課程にふさわしい教育内容の設定</p> <p><学士課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年次教育、高大接続への配慮 ・教養教育と専門教育の適切な配置 <p><修士課程、博士課程></p> <p>コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等</p> <p>達成 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生の受験科目による自然科学における実力の相違を補うため、物理学、化学、生物学のリメディアル教育科目として「基礎科学(物理学)」「基礎科学(化学)」「基礎科学(生物学)」(選択必修科目)が開講されている。(資料 413-8) ・文章の書き方に関する基本的な作法や技術を通じ、相手が正確に理解できるようにするための方法について学ぶ「スタディ・スキルズ」を初年次教育科目として開講している。(資料 413-9) ・教養教育と専門教育が適切に配置されている。(資料 412-1) ・学生のリサーチ・マインドを涵養することを目的として、3年次に「医学研究実習」、1~6年次に「医学研究室配属(自由選択科目)」を開講し医学研究に関する実践的教育を展開している。(資料 413-10~11) ・「医学研究室配属」に連動した「医学研究科研究医養成プログラム」の制度が設けられている。(資料 413-12) <p>・教育課程の編成における全学内部質保証推進組織等の関わり</p> <p>達成 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成については、教学マネジメント委員会において全学的観点から方向性が確認され、その後、各学部、各研究科で具体的な教育課程の編成について検討が行われ、当該教授会の議を経て教学マネジメント委員会に報告されている。(資料 413-13~14) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長(学長諮問会議)に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、教育課程の編成
--	---

A

<p>る。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、教育課程の編成に係る検討・改善については、カリキュラム委員会と教務委員会が連携して取り組んでいる。</p>	
<p>○学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育の適切な実施 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学教育モデル・コア・カリキュラムに示された内容を教授できる教育課程となっている。(資料 412-1、413-20) ・CCの編成に関しては文部科学省が提唱する「診療参加型臨床実習実施ガイドライン」に則り、内科・外科・精神科・小児科・産科婦人科・総合診療科の実習期間を1診療科あたり4週間設け、重要な診療科での学修時間を確保している。また、第5学年のCC、第6学年のACCの二段階制を採用し、臨床実習の学修成果向上を狙っている。(資料 412-6～7) ・倫理学、法学、行動科学などを低学年時に履修し、その後、研究倫理、チーム医療の医看合同演習、終末期医療など、順次性をもった6年一貫のプロフェッショナルイズム教育としてメディカル・プロフェッショナルイズム (D-Me p)を開講している。(資料 413-21～26) ・学生が自身のキャリアプランを明確化するための「これからの時代を生き抜くための医師のキャリアプラン」において、ロールモデルとなる現職の教授や、米国で活躍する卒業生からの講義を通して、国際的な視点を含め、リーダーシップの涵養が図られている。(資料 413-27) <p>対応：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医学教育モデル・コア・カリキュラム (令和4年度改訂版)」に記載されているガイドラインに準拠した見直しを図るため、2025 (令和7) 年度からCCの開始時期を11月に前倒しし、CC及びACCの期間を現行の68週から72週に延長する。(資料 413-28～29) ・英語教育において、縦断的な6年間のカリキュラム構築を図るために、2023 (令和5) 年度にワーキンググループで議論を重ねた結果、これまでの「医学英語」講義を見直し、各科目で関連するMedical Terminologyを担当する新・医学英語プログラムを2024 (令和6) 年度から1～4年次において展開する。(資料 413-30) ・2023 (令和5) 年度に締結した「相互協力連携に関する協定」に基づき、足利銀行に医療経営に関する講義を依頼しており、2024 (令和6) 年度に「メディカル・プロフェッショナルイズムIV」で実施する。(資料 413-31) <p>◎実践的なデータサイエンス教育の実施</p> <p>達成：</p> <p>「予防医学・臨床疫学」(第3学年)及び「統計学」(第1学年)では、実際に行われた疫学研究データを用いた実践的なデータサイエンス教育が実施されている。(資料 413-32～33)</p>	<p style="text-align: center;">B</p>

<p>に係る検討・改善については、カリキュラム委員会と教務委員会が連携して取り組んでいる。</p>	
<p>○学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育の適切な実施 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学教育モデル・コア・カリキュラムに示された内容を教授できる教育課程となっている。(資料 412-1、資料 413-14) ・CCの編成に関しては文部科学省が提唱する「診療参加型臨床実習実施ガイドライン」に則り、内科・外科・精神科・小児科・産科婦人科・総合診療科の実習期間を1診療科あたり4週間設け、重要な診療科での学修時間を確保している。また、第5学年のCC、第6学年のACCの二段階制を採用し、臨床実習の学修成果向上を狙っている。(資料 412-6～7) ・倫理学、法学、行動科学などを低学年時に履修し、その後、研究倫理、チーム医療の医看合同演習、終末期医療など、順次性をもった6年間一貫のプロフェッショナルイズム教育としてDokkyo Medical Professionalism (D-Me p)を2023 (令和5) 年度より開講する。(資料 413-16) <p>対応：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教育において、縦断的な6年間のカリキュラム構築を図るために、2023 (令和5) 年度にワーキンググループを結成し、その成果を2024 (令和6) 年度のカリキュラムに反映する。(資料 413-17) <p>◎実践的なデータサイエンス教育の実施</p> <p>達成：</p> <p>「予防医学・臨床疫学」(第3学年)及び「統計学」(第1学年)では、実際に行われた疫学研究データを用いた実践的なデータサイエンス教育が実施されている。(資料 413-18～19)</p>	<p style="text-align: center;">A</p>

414	④学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	
	<p>○各学部・研究科において授業内外の学生の学習を活性化し効果的に教育を行うための措置 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るための措置（1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定等） <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業要件として修得すべき科目は、全て必修科目又は選択必修科目として設定している。それらを除いた自由選択科目については、履修できる単位数の上限を設け、第1学年から第5学年にあつては各3単位、第6学年にあつては1.5単位としている。(資料412-3:P27-35) 各授業科目のシラバスに、単位制度に対応した準備学修の具体的内容とそれに必要な時間を明示し、LMSを利用した学修支援を行うなど、単位の実質化を図る工夫を行っている。(資料412-4~7) シラバスの内容（授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示）及び実施（授業内容とシラバスとの整合性の確保等） <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスに以下の内容を明示している。(資料412-4~7) <ol style="list-style-type: none"> 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 学修の到達目標及び成績評価の方法・基準 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 当該授業科目の教育課程内の位置づけや水準を表す数字や記号（医学教育モデル・コア・カリキュラムの記号・番号） アクティブ・ラーニングの授業手法 シラバスは記載する内容を明記した要項に基づき作成されている。(資料414-1) 授業評価(同僚評価)により授業内容とシラバスの整合性を確保している。(資料414-2) 編集の過程で教育技法委員会（学生の代表者が参画）、臨床実習委員会において記載内容の適正性について第三者による点検評価が行われ、改善が必要な点は作成者、科目責任者へフィードバックされている。(資料414-3) <p>対応：</p> <p>2023（令和5）年度シラバスでは、在学生にも可能な限り早期に医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）の内容を授業に導入するため、これに準拠した学習内容を求めている。(資料414-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の内容、方法等を変更する場合における適切なシラバス改訂と学生への周知 <p>達成：</p>	A

414	④学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	
	<p>○各学部・研究科において授業内外の学生の学習を活性化し効果的に教育を行うための措置 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るための措置（1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定等） <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業要件として修得すべき科目は、全て必修科目又は選択必修科目として設定している。それらを除いた自由選択科目については、履修できる単位数の上限を設け、第1学年から第5学年にあつては各3単位、第6学年にあつては1.5単位としている。(資料412-3:P27-34) 各授業科目のシラバスに、単位制度に対応した準備学修の具体的内容とそれに必要な時間を明示し、LMSを利用した学修支援を行うなど、単位の実質化を図る工夫を行っている。(資料412-4~7) シラバスの内容（授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示）及び実施（授業内容とシラバスとの整合性の確保等） <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスに以下の内容を明示している。(資料412-4~7) <ol style="list-style-type: none"> 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 学修の到達目標及び成績評価の方法・基準 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 当該授業科目の教育課程内の位置づけや水準を表す数字や記号（医学教育モデル・コア・カリキュラムの記号・番号） アクティブ・ラーニングの授業手法 シラバスは記載する内容を明記した要項に基づき作成されている。(資料414-1) 授業評価(同僚評価)により授業内容とシラバスの整合性を確保している。(資料414-2) 編集の過程で教育技法委員会（学生の代表者が参画）、臨床実習委員会において記載内容の適正性について第三者による点検評価が行われ、改善が必要な点は作成者、科目責任者へフィードバックされている。(資料414-3) <ul style="list-style-type: none"> 授業の内容、方法等を変更する場合における適切なシラバス改訂と学生への周知 <p>達成：</p> <p>シラバスは、毎年度作成しており、上述のようなチェック体制が整備されている。シラバスはホームページに掲載されており、学生・教職員の他、第三者が確認できるようにしている。</p>	A

<p>シラバスは、毎年度作成しており、上述のようなチェック体制が整備されている。シラバスはホームページに掲載されており、学生・教職員の他、第三者が確認できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生の主體的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法（教員・学生間や学生同士のコミュニケーション機会の確保、グループ活動の活用等） 達成： <ul style="list-style-type: none"> PBLやTBLにより学生の主體的参加を促している他、医看合同授業により学生が主體的に多職種連携・チーム医療を理解する機会を設けている。(資料 414-4) 主な授業科目 第1学年コミュニティヘルスインターンシップ (資料 414-4) 第1・2学年PBLチュートリアルI・II (資料 414-5～6) 第2学年「基礎統合演習」でチーム基盤学修(TBL)形式の講義が導入されている。(資料 413-7～8) 第1～6学年メディカル・プロフェッショナリズム(D-Me p) I～VI (資料 413-21～26) 第2・3学年医学研究実習(ベーシック・アドバンスド) (資料 413-13～14) 学生がキャンパスに集う機会を十分得られるように、また学生同士や、学生と教職員との人的交流が十分得られるように、2023(令和5)年度の授業は対面を基本に実施されている。 学習の進捗と学生の理解度の確認 達成： <ul style="list-style-type: none"> LMSにより学修の進捗状況が可視化されている。LMSは課題の配信・提出、オンデマンド動画の配信、授業評価アンケートにも活用されている。(資料 413-11) 授業の履修に関する指導、その他効果的な学習のための指導 達成： <ul style="list-style-type: none"> 年度の冒頭等に新入生、在学生へのオリエンテーションを実施し、学生に対して学修の道筋を示している。(資料 414-7) 生成AI(ChatGPT等)によって生成された文章や計算結果を用いて課題を作成することを原則禁止している。(資料 414-8) 授業外学習に資する適切なフィードバックや、量的・質的に適当な学習課題の提示 達成： <ul style="list-style-type: none"> 学生が自主学習に十分に取り組めるよう、求められる事前・事後学習の詳細と所要時間の目安をシラバス・シラバス別冊に明示している。(資料 412-4～7) 各学部・研究科における教育の実施にあたっての全学内部質保証推進組織等の関わり(教育の実施内容・状況の把握等) 達成： <ul style="list-style-type: none"> 本学における自己点検の基本的構造は、各学部・研究科単位での内部質保証活動が前提となっており、それら組織単位での内部質保証活動の結果を、全学的観点から点検・評価し、具体的な改善活動につなげるといった構造にな
--

<ul style="list-style-type: none"> 学生の主體的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法（教員・学生間や学生同士のコミュニケーション機会の確保、グループ活動の活用等） 達成： <ul style="list-style-type: none"> PBLやTBLにより学生の主體的参加を促している他、医看合同授業により学生が主體的に多職種連携・チーム医療を理解する機会を設けている。(資料 414-4) 主な授業科目 第1学年コミュニティヘルスインターンシップ (資料 414-5) 第1・2学年PBLチュートリアルI・II (資料 414-6～7) 第2学年微生物学でチーム基盤学修(TBL)形式の講義が導入されている。(資料 414-8) 学生がキャンパスに集う機会を十分得られるように、また学生同士や、学生と教職員との人的交流が十分得られるように、2022(令和4)年度の授業は対面を基本に実施されている。 学習の進捗と学生の理解度の確認 達成： <ul style="list-style-type: none"> LMSにより学修の進捗状況が可視化されている。LMSは課題の配信・提出、オンデマンド動画の配信、授業評価アンケートにも活用されている。(資料 413-7) 授業の履修に関する指導、その他効果的な学習のための指導 達成： <ul style="list-style-type: none"> 年度の冒頭等に新入生、在学生へのオリエンテーションを実施し、学生に対して学修の道筋を示している。(資料 414-9) 授業外学習に資する適切なフィードバックや、量的・質的に適当な学習課題の提示 達成： <ul style="list-style-type: none"> 学生が自主学習に十分に取り組めるよう、求められる事前・事後学習の詳細と所要時間の目安をシラバス・シラバス別冊に明示している。(資料 412-4～7) 各学部・研究科における教育の実施にあたっての全学内部質保証推進組織等の関わり(教育の実施内容・状況の把握等) 達成： <ul style="list-style-type: none"> 本学における自己点検の基本的構造は、各学部・研究科単位での内部質保証活動が前提となっており、それら組織単位での内部質保証活動の結果を、全学的観点から点検・評価し、具体的な改善活動につなげるといった構造になっている。学生の学修を活性化する取り組みにおいても、大学レベルでの改善・向上に努めている。(資料 414-10) 前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長(学長諮問会議)に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で教務委員会は教育の実施内容や状況を確認し、改善に取り組んでいる。
--

	<p>っている。学生の学修を活性化する取り組みにおいても、大学レベルでの改善・向上に努めている。(資料 414-9)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長(学長諮問会議)に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で教務委員会は教育の実施内容や状況を確認し、改善に取り組んでいる。 <p><学士課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業形態に配慮した1授業あたりの学生数 達成： <ul style="list-style-type: none"> 講義形態の授業では、基本的に1学年1教室で実施されている。(資料 414-10) 語学科目やPBL等の一部の科目では、教育効果が見込める人数単位に学生を分割して実施している。(資料 414-11) CCは1グループ2~3名で編成している。(資料 414-12) 基礎医学等の実習科目においては、複数の教員が配置され、きめの細かい指導が行き届くよう配慮している。(資料 412-4) 対応： 2025(令和7)年11月から開始予定のCCにおいて、多数のグループが同時に同一診療科へ配属され、過密になることが予想されることから、各診療科に対してアンケートを実施し、各診療科が関係する病院への配属を検討している。(資料 414-13) <p><COVID-19に伴う授業の対応></p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学病院内での実習に際して、「教育活動における新型コロナウイルス対策に関するワーキンググループ」での意見に基づき、感染対策を考慮した実習内容の検討を行った。(資料 414-14) 学生の理解と納得を得るため、授業の方向性等に関する内容を学生・教員に周知し情報共有を図っている。(資料 414-15) 	
415	⑤成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	

	<p><学士課程></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業形態に配慮した1授業あたりの学生数 達成： <ul style="list-style-type: none"> CCは1グループ2~3名で編成している。(資料 414-11) 語学教育他、一部の科目で少人数クラスを設定している。(資料 412-4) 基礎医学等の実習科目においては、複数の教員が配置され、きめの細かい指導が行き届くよう配慮している。(資料 412-4) <p><COVID-19に伴う授業の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 2022(令和4)年度は対面を主体とした授業形態を基本方針として開始したが、感染状況に応じてオンラインへの移行も行われた。(資料 414-12~13) コロナ禍で学生の理解・納得を得るため、授業の方向性や、原則毎週月曜日に開催されている「教育活動における新型コロナウイルス対策に関するワーキンググループ」で示された医学部教育に関する内容を学生・教員に周知し情報共有を図っている。(資料 414-14) COVID-19対応(授業関係)時系列(資料 414-15~16) 	
415	⑤成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	

<p>○成績評価及び単位認定を適切に行うための措置 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位制度の趣旨に基づく単位認定 達成： 学則第 16 条に「医学部における各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を教室内及び教室外を合わせて 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により計算するものとする。(1) 講義及び演習については、15～22 時間の授業をもって 1 単位とする。(2) 実験、実習及び実技については、30～44 時間の授業をもって 1 単位とする」と定めている。(資料 413-6) ・既修得単位の適切な認定 達成： 入学前の既修得単位の認定については学則第 22 条に「教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（大学設置基準第 31 条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる（第 2・3 項省略）」と定めているが、その取扱いについては継続的な検討を行う必要がある。(資料 413-6) ・成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置 達成： <ul style="list-style-type: none"> ・学生評価への透明性を高めるため、結果発表後に一定の期間を設け、成績評価に関する照会を受け付けており、公平な評価を行うための客観性・透明性を担保している。(資料 415-1～2) ・学修成果を判断するための客観的な指標となる G P A 分布表を保証人に対して送付している。(資料 415-3) ・成績評価の平準化を目的に G P を活用した検証を行っている。(資料 415-4) ・2023（令和 5）年度の定期試験、共用試験、卒業試験は対面で実施されており、成績評価の客観性、厳格性が担保されている。(資料 415-5) ・卒業・修了要件の明示 達成： 「医学部進級判定及び卒業判定に係る細則」に明示している。(資料 415-6) ・成績評価及び単位認定に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり 達成： <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価と単位認定は、学則・シラバスの成績評価基準等に基づいて適切に行われている。(資料 412-4～7、413-6) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長（学長諮問会議）に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を 	A	<p>○成績評価及び単位認定を適切に行うための措置 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位制度の趣旨に基づく単位認定 達成： 学則第 16 条に「医学部における各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を教室内及び教室外を合わせて 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により計算するものとする。(1) 講義及び演習については、15～22 時間の授業をもって 1 単位とする。(2) 実験、実習及び実技については、30～44 時間の授業をもって 1 単位とする」と定めている。(資料 413-6) ・既修得単位の適切な認定 達成： 入学前の既修得単位の認定については学則第 22 条に「教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（大学設置基準第 31 条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる（第 2・3 項省略）」と定めているが、その取扱いについては継続的な検討を行う必要がある。(資料 413-6) ・成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置 達成： <ul style="list-style-type: none"> ・学生評価への透明性を高めるため、結果発表後に一定の期間を設け、成績評価に関する照会を受け付けており、公平な評価を行うための客観性・透明性を担保している。(資料 415-1～2) ・2022（令和 4）年度の定期試験、共用試験、卒業試験は対面で実施されており、成績評価の客観性、厳格性が担保されている。(資料 415-3) ・オンライン試験の実施（追試験）(資料 415-4) ・卒業・修了要件の明示 達成： 「医学部進級判定及び卒業判定に係る細則」に明示している。(資料 415-5) ・成績評価及び単位認定に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり 達成： <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価と単位認定は、学則・シラバスの成績評価基準等に基づいて適切に行われている。(資料 412-4～7、413-6) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長（学長諮問会議）に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、成績評価及び単位認定に係る検討・改善については、教務委員会がその役割を果たしている。 	A
--	---	---	---

	<p>要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、成績評価及び単位認定に係る検討・改善については、教務委員会がその役割を果たしている。</p> <p>◎GPAの活用 達成： GPAの基準を設定し、当該基準を下回る学生を成績不振学生と位置づけ、修学等の指導を行う取組を実施している。(資料 415-7~8)</p> <p>◎学修成果等の可視化 達成： ・CCの評価項目の成績分布表を作成し、ディプロマサブリメントとして6年生に交付している。(資料 415-9) ・学修ポートフォリオを整備(2020(令和2)年11月運用開始)し、学生が自分自身で自己の能力を把握するとともに、大学での学びの成果を可視化している。(資料 415-10) 対応： 医学部教育関係委員会の組織改編を行い、2024(令和6)年度から教育技法委員会において、学修ポートフォリオの充実や活用方法について検討を図っていく。(資料 413-5)</p>			<p>◎GPAの活用 達成： GPAの基準を設定し、当該基準を下回る学生を成績不振学生と位置づけ、修学等の指導を行う取組を実施している。(資料 415-6~7)</p> <p>◎学修成果等の可視化 達成： ・2021(令和3)年度CCの評価項目の成績分布表を作成し、5年次のディプロマサブリメントとして6年生に交付している。(資料 415-8) ・学修ポートフォリオを整備(2020(令和2)年11月運用開始)し、学生が自分自身で自己の能力を把握するとともに、大学での学びの成果を可視化している。(資料 415-9)</p>		
	<p>○学位授与を適切に行うための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学位論文審査がある場合、学位論文審査基準の明示・公表 ・学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するための措置 ・学位授与に係る責任体制及び手続の明示 ・適切な学位授与 ・学位授与に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成： ・授与する学位については、獨協医科大学学位規程及び各研究科における細則に定め、学位授与に係る手続きや責任体制を明確にしている。(資料 415-11) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長(学長諮問会議)に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、学位授与に係る検討・改善については、教務委員会がその役割を果たしている。</p>	A		<p>○学位授与を適切に行うための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学位論文審査がある場合、学位論文審査基準の明示・公表 ・学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するための措置 ・学位授与に係る責任体制及び手続の明示 ・適切な学位授与 ・学位授与に関わる全学的なルールの設定その他全学内部質保証推進組織等の関わり <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成： ・授与する学位については、獨協医科大学学位規程及び各研究科における細則に定め、学位授与に係る手続きや責任体制を明確にしている。(資料 415-10) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長(学長諮問会議)に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、学位授与に係る検討・改善については、教務委員会がその役割を果たしている。</p>	A	
416	<p>⑥学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。</p> <p>○各学位課程の分野の特性に応じた学習成果を測定するための指標の適切な設定(特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)</p>	B		416	<p>⑥学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。</p> <p>○各学位課程の分野の特性に応じた学習成果を測定するための指標の適切な設定(特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)</p>	B

(達成されていること、されていないこと 箇条書き)

達成：

- ・アセスメント・ポリシー（学修成果及び成績評価に関する方針）の策定（資料 411-1）
- ・コンピテンシー・マイルストーンの設定（資料 413-4）
レベル 1：第 2 学年終了時
レベル 2：第 4 学年終了時
レベル 3：卒業時
- ・総括的な直接的評価として行われる授業ごとの筆記試験の他、第 3・5 学年においては各時点での学修到達度測定のために総合試験を実施し、進級判定に用いている。（資料 415-6）
- ・第 4 学年での学修到達度は、共用試験 C B T で知識を、臨床実習前 O S C E で技能の習得度を評価している。第 6 学年では総合的な基礎および臨床知識を評価するカテゴリー試験（第 1 次卒業試験）を実施し、医師国家試験形式で第 2 次卒業試験を実施して卒業判定を行っている。また、第 2 次卒業試験の不合格者には、第 3 次卒業試験を実施して最終的な卒業判定を行っている。（資料 415-6）

対応：

- ・医学部教育プログラム評価委員会において、コンピテンシー・マイルストーンの検証や、評価方法の構築を図るため、2024（令和 6）年度に医学部教育関係委員会の組織改編を行う。（資料 413-5）
- ・共用試験 C B T はこれまで大学独自の合格判定基準を採用し、2022（令和 4）年度は I R T 値 470 を採用した。2023（令和 5）年度には医療系大学間共用試験実施評価機構により合格判定基準が全国統一の I R T 値 396 に定められたことから、これまでと同様の基準値で学修到達度を測定するために 2024（令和 6）年度から第 4 学年において共用試験 C B T に準拠した総合試験を実施する。（資料 413-17）

(達成されていること、されていないこと 箇条書き)

達成：

- ・アセスメント・ポリシー（学修成果及び成績評価に関する方針）の策定（資料 411-1）
- ・コンピテンシー・マイルストーンの設定（資料 413-5）
レベル 1：第 2 学年終了時
レベル 2：第 4 学年終了時
レベル 3：卒業時
- ・総括的な直接的評価として行われる授業ごとの筆記試験の他、第 2・3・5 学年においては各時点での学修到達度測定のために総合試験を実施し、進級判定に用いている。（資料 415-5）

未達：

コンピテンシー・マイルストーンに沿った知識・技能及び態度の評価方法の構築

<p>○学位授与方針に明示した学生の学習成果を把握及び評価するための方法の開発 ≪学習成果の測定方法例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取 <p>(達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目毎に行う学生による授業評価アンケート、卒業時アンケートを実施し、学生の自己評価による達成度や満足度調査を通じて学位授与方針に明示した学修成果を把握している。(資料 416-1~2) ・卒業生や就職先に対し、医学部教育における成果に関するアンケートを毎年実施しており、学生の知識、協調性、積極性等を確認する項目を設定するなど、学修成果の把握に向けた取組を行っている。(資料 416-3~5) ・医学部における教育課程の改善のプロセスに実務家教員が参画する仕組みを設け、カリキュラムの継続的改善に努めている。(資料 416-6~7) ・学生による授業評価の結果を分析・検討し、授業の改善を図るための取り組みを実施している。(資料 416-8) ・CC開始後 8 週間に渡って行われる基幹診療科実習（内科系 4 週・外科系 4 週）では、診療参加型臨床実習で必要とされる基本的な実践的能力を備えさせることを目的に内科系・外科系の共通のプログラムを策定している。(資料 416-9) 同プログラムについては指導医・学生の意見を踏まえ改善に取り組んでいる。(資料 416-10) ・CC・ACCにおけるルーブリックやmini-CEX等の導入を進め、形成的評価方法による評価を確実に実施していくための調査・分析を行っている。(資料 416-11) ・第2学年「医学研究実習（ベーシック）」、第3学年「医学研究実習（アドバンスド）」では、日々の生活や研究態度を評価する際に公平な基準となるようルーブリック評価を用いている。(資料 416-12) ・総合試験、卒業試験および一部の定期試験については模範解答が開示され、学生は自己採点により学修成果の達成状況を知る（フィードバックを受ける）ことができる。(資料 416-13) 	A
<p>○学習成果の把握及び評価の取り組みに対する全学内部質保証推進組織等の関わり</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント・ポリシーは、内部質保証推進委員会から学長に提言され、教学マネジメント委員会の承認を経て、令和3年11月に制定されている(資料 411-1) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長（学長諮問会議）に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策への対応を 	A

<p>○学位授与方針に明示した学生の学習成果を把握及び評価するための方法の開発 ≪学習成果の測定方法例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取 <p>(達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目毎に行う学生による授業評価アンケート、卒業時アンケートを実施し、学生の自己評価による達成度や満足度調査を通じて学位授与方針に明示した学修成果を把握している。(資料 416-1~2) ・卒業生や就職先に対し、医学部教育における成果に関するアンケートを毎年実施しており、学生の知識、協調性、積極性等を確認する項目を設定するなど、学修成果の把握に向けた取組を行っている。(資料 416-3~5) ・医学部における教育課程の改善のプロセスに実務家教員が参画する仕組みを設け、カリキュラムの継続的改善に努めている。(資料 416-6~7) ・学生による授業評価の結果を分析・検討し、授業の改善を図るための取り組みを実施している。(資料 416-8) ・CC開始後 8 週間に渡って行われる基幹診療科実習（内科系 4 週・外科系 4 週）では、診療参加型臨床実習で必要とされる基本的な実践的能力を備えさせることを目的に内科系・外科系の共通のプログラムを策定している。(資料 416-9) 同プログラムについては指導医・学生の意見を踏まえ改善に取り組んでいる。(資料 416-10) ・CC・ACCにおけるルーブリックやmini-CEX等を用いた形成的評価の導入は着実に進展している(2022(令和4)年度は大学病院の71%の診療科で採用されており、2023(令和5)年度には全診療科のCCで採用予定である)。(資料 416-11) ・総合試験、卒業試験および一部の定期試験については模範解答が開示され、学生は自己採点により学修成果の達成状況を知る（フィードバックを受ける）ことができる。(資料 416-12) 	A
<p>○学習成果の把握及び評価の取り組みに対する全学内部質保証推進組織等の関わり</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント・ポリシーは、内部質保証推進委員会から学長に提言され、教学マネジメント委員会の承認を経て、令和3年11月に制定されている(資料 411-1) ・前年度の教育活動については、医学部自己点検・評価委員会が点検と評価を行い、その結果は内部質保証推進委員会に提出される。改善が必要とされる事項は、内部質保証推進委員会の議を経て学長（学長諮問会議）に提言される。提言を受けた学長は、教学マネジメント委員会に当該改善策へ 	A

	要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、学修成果の把握及び評価に係わる検討・改善については、教務委員会がその役割を果たしている。	
417	⑦教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	
	○適切な根拠（資料、情報）に基づく定期的な点検・評価 ・学習成果の測定結果の適切な活用 達成： ・医学部自己点検・評価委員会による点検・評価が実施されている。(資料 417-1~2) ・教学 I R センターで多角的に分析された客観的なデータは教務委員会で教育課程及びカリキュラムの適切性の検証及び改善に向けた検討に活用されている。(資料 417-3) ・ICTの活用やアクティブ・ラーニングあるいはルーブリックの活用などに関する調査を実施し、教員に授業方法の工夫や見直しを促すとともに、教育方法の適切性について点検を行い、教育内容や授業運営の改善・向上に努めている。(資料 417-4)	A
	◎学修成果に関する卒業研修先との協議 達成： ・学生への教育の成果や効果の向上について検証し、本学のキャリア教育・支援の改善を目的に、卒業研修先に対して、学生時代に身に付けておくべき能力その他の本学の教育内容等に関するアンケートを実施した。集計結果は授業等教育活動の見直しに活用していく。(資料 416-4)	
	○点検・評価結果に基づく改善・向上 (達成されていること、されていないこと 箇条書き) 達成： ・医学部ではこれまで学生に、学修成果としてディプロマ・ポリシーを示してきたが、教務委員会では学生自身が自己の学習の進捗に責任を持ち、具体的な目標を立てて段階的に進んでいけるよう、ディプロマ・ポリシーの各項目を細分化してコンピテンシー・マイルストーンを策定し、2022（令和 4）年度から学生に示している。(資料 413-4) ・獨協医科大学医学部教育における成果に関する 2021（令和 3）年度のアンケート調査により、リサーチ・マインドの醸成レベルが低いことが明らかになった。その解決に向けた取り組みの一つとして、2 年次に「医学研究実習（ベーシック）」、3 年次に「医学研究実習（アドバンスド）」を開設し、これまで 2 週間だった期間を 4 週間に拡充した。なお、2024（令和 6）年度は更に期間を 6 週間に拡充していく予定である。(資料 413-13~14、資料 413-17) 対応：	B

	の対応を要請する仕組みが確立されている。このプロセスの中で、学修成果の把握及び評価に係わる検討・改善については、教務委員会がその役割を果たしている。	
417	⑦教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	
	○適切な根拠（資料、情報）に基づく定期的な点検・評価 ・学習成果の測定結果の適切な活用 達成： ・医学部自己点検・評価委員会による点検・評価が実施されている。(資料 417-1~3) ・教学 I R センターで多角的に分析された客観的なデータは教務委員会で教育課程及びカリキュラムの適切性の検証及び改善に向けた検討に活用されている。(資料 417-4~5) ・ICTの活用やアクティブ・ラーニングあるいはルーブリックの活用などに関する調査を実施し、教員に授業方法の工夫や見直しを促すとともに、教育方法の適切性について点検を行い、教育内容や授業運営の改善・向上に努めている。(資料 417-6)	A
	◎学修成果に関する卒業研修先との協議 達成： ・学生への教育の成果や効果の向上について検証し、本学のキャリア教育・支援の改善を目的に、卒業研修先に対して、学生時代に身に付けておくべき能力その他の本学の教育内容等に関するアンケートを実施した。集計結果は授業等教育活動の見直しに活用していく。(資料 416-4)	
	○点検・評価結果に基づく改善・向上 (達成されていること、されていないこと 箇条書き) 達成： ・医学部ではこれまで学生に、学修成果としてディプロマ・ポリシーを示してきたが、教務委員会では学生自身が自己の学習の進捗に責任を持ち、具体的な目標を立てて段階的に進んでいけるよう、ディプロマ・ポリシーの各項目を細分化してコンピテンシー・マイルストーンを策定し、2022（令和 4）年度から学生に示している。(資料 417-7) ・獨協医科大学医学部教育における成果に関する 2021（令和 3）年度のアンケート調査により、リサーチ・マインドの醸成レベルが低いことが明らかになったことから、解決に向けた取り組みの一つとして、第 3 学年の「医学研究実習」の実習期間を 2023（令和 5）から段階的に拡張していくことを計画している。(資料 416-3~4)	A

	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部では2022（令和4）年に日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を受審し、2023（令和5）年10月1日から7年間の認定期間が開始した。受審後JACMEから、カリキュラムに関する委員会の役割分担が明確でなく、それぞれの機能と権限を整理すべきとの助言があり、2024（令和6）年から医学部教育関係委員会の組織改編を行う計画である。（資料413-5） ・医学部教育プログラム評価委員会において、2024（令和6）年度から学生委員の意見を参考にしながら、コンピテンシー・マイルストーンの検証や、それに沿った知識・技能及び態度の評価方法の構築を図るとともに、マイルストーンの達成度を測る予定である。（資料413-5） 	
--	---	--

--	--	--

2. 根拠資料（名称）

2023（令和5）年度		
項目No.	資料番号	根拠資料の名称
411	1	医学部教育理念・4つのポリシー https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/campus/guide/policy.html
411	2	獨協医科大学医学部ミッションカード
412	1	医学部カリキュラム https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/curriculum/
412	2	令和5年度医学部アクティブ・ラーニング実施計画（科目別）
412	3	令和5年度学生生活のしおり
412	4	令和5年度医学部講義シラバス https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/syllabus/2023/plan/
412	5	令和5年度講義シラバス別冊 https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/syllabus/auth/2023/lecture/
412	6	令和5年度CC実習シラバス https://www.dokkyomed.ac.jp/upload/Syllabus/files/dokkyo_20230511_e_f_90_645c8cd0-a2c8-460f-a2ef-35f73b6adde2.pdf
412	7	令和5年度ACC実習シラバス https://www.dokkyomed.ac.jp/upload/Syllabus/files/dokkyo_20230224_e_f_85_63f81f0e-f8ec-4e13-917e-311f3b6adde2.pdf
412	8	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）新旧対照表
412	9	令和5年度医学部履修系統図 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dusm/curri/00996-025.pdf
413	1	医学部カリキュラム概略図
413	2	令和5年度医学部カリキュラムマップ https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dusm/curri/00996-026.pdf
413	3	令和5年度医学部科目ナンバリング

2022（令和4）年度		
項目No.	資料番号	根拠資料の名称
411	1	医学部教育理念・4つのポリシー https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/campus/guide/policy.html
411	2	獨協医科大学医学部ミッションカード
412	1	医学部カリキュラム https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/curriculum/
412	2	令和4年度医学部アクティブ・ラーニング実施計画（科目別）
412	3	令和4年度学生生活のしおり
412	4	令和4年度医学部講義シラバス https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/syllabus/2022/plan/
412	5	令和4年度講義シラバス別冊（CDデータ）
412	6	令和4年度CC実習シラバス https://www.dokkyomed.ac.jp/upload/Syllabus/files/dokkyo_20220212_e_f_70_6206fd88-d4dc-413b-8671-58fb3b6adde2.pdf
412	7	令和4年度ACC実習シラバス https://www.dokkyomed.ac.jp/upload/Syllabus/files/dokkyo_20220212_e_f_71_6206fff7-23c4-4996-b0c0-7e2e3b6adde2.pdf
412	8	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）新旧対照表
413	1	医学部カリキュラム概略図
413	2	令和4年度医学部履修系統図 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dusm/curri/00996-025.pdf
413	3	令和4年度医学部カリキュラムマップ https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dusm/curri/00996-026.pdf
413	4	令和4年度医学部科目ナンバリング

413	4	医学部コンピテンシー・マイルストーン
413	5	医学部教育関係組織図
413	6	獨協医科大学学則 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dusm/student_life/007/01.pdf
413	7	令和5年度シラバス「基礎統合演習」
413	8	令和5年度「基礎統合演習」日程表
413	9	令和5年度「臨床推論演習Ⅰ～Ⅲ」履修要項
413	10	ブロック制授業概略図
413	11	LMS活用事例
413	12	令和5年度シラバス「スタディ・スキルズ」
413	13	令和5年度シラバス「医学研究実習（ベーシック）」
413	14	令和5年度シラバス「医学研究実習（アドバンスド）」
413	15	令和5年度「医学研究室配属Ⅰ～Ⅵ」履修要項
413	16	医学研究科研究医養成プログラム
413	17	令和6年度カリキュラム案
413	18	令和5年度第1回教学マネジメント委員会議事要録
413	19	令和5年度第2回教学マネジメント委員会議事要録
413	20	医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）
413	21	令和5年度シラバス「メディカル・プロフェッショナリズムⅠ」
413	22	令和5年度シラバス「メディカル・プロフェッショナリズムⅡ」
413	23	令和5年度シラバス「メディカル・プロフェッショナリズムⅢ」
413	24	令和5年度シラバス「メディカル・プロフェッショナリズムⅣ」
413	25	令和5年度シラバス「メディカル・プロフェッショナリズムⅤ」
413	26	令和5年度シラバス「メディカル・プロフェッショナリズムⅥ」
413	27	令和5年度シラバス「これからの時代を生き抜くための医師のキャリアプラン」
413	28	医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）
413	29	CC新プログラム案
413	30	6年一貫型英語教育ワーキンググループ議事要録
413	31	相互協力連携に関する協定書

413	5	医学部コンピテンシー・マイルストーン
413	6	獨協医科大学学則 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dusm/student_life/007/01.pdf
413	7	LMS活用事例
413	8	令和4年度シラバス「基礎科学（物理学）」「基礎科学（化学）」「基礎科学（生物学）」
413	9	令和4年度シラバス「スタディ・スキルズ」
413	10	令和4年度シラバス「医学研究実習」
413	11	令和4年度「医学研究室配属Ⅰ～Ⅵ」履修要項
413	12	医学研究科研究医養成プログラム
413	13	令和4年度第1回教学マネジメント委員会議事要録
413	14	令和4年度第2回教学マネジメント委員会議事要録
413	15	医学教育モデル・コア・カリキュラム
413	16	医学部メディカル・プロフェッショナリズム（D-Mep）シラバス草案
413	17	6年一貫型英語教育ワーキンググループ名簿
413	18	令和4年度シラバス「予防医学・臨床疫学」
413	19	令和4年度シラバス「統計学」
414	1	令和4年度シラバス作成要項
414	2	同僚評価表（様式）、令和4年度同僚評価実施状況
414	3	医学部シラバス第三者評価要領
414	4	令和4年度医看合同講義一覧
414	5	令和4年度シラバス「コミュニティヘルスインターンシップ（CHI）」
414	6	令和4年度シラバス「PBLチュートリアルⅠ」
414	7	令和4年度シラバス「PBLチュートリアルⅡ」
414	8	令和4年度シラバス「微生物学」
414	9	オリエンテーション資料
414	10	獨協医科大学内部質保証システム https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/quality/002.pdf
414	11	令和4年度CCグループ名簿
414	12	COVID-19対応発信文書（学生向け）
414	13	COVID-19対応発信文書（教員向け）

413	32	令和5年度シラバス「予防医学・臨床疫学」
413	33	令和5年度シラバス「統計学」
414	1	令和5年度シラバス作成要項
414	2	同僚評価表（様式）、令和5年度同僚評価実施状況
414	3	医学部シラバス第三者評価要領
414	4	令和5年度シラバス「コミュニティヘルスインターンシップ（CHI）」
414	5	令和5年度シラバス「PBLチュートリアルⅠ」
414	6	令和5年度シラバス「PBLチュートリアルⅡ」
414	7	令和5年度オリエンテーション資料
414	8	生成AI（ChatGPT等）対応発信文書
414	9	獨協医科大学内部質保証システム https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/quality/002.pdf
414	10	令和5年度医学部授業座席表
414	11	令和5年度PBLチュートリアルⅠ・Ⅱグループ名簿
414	12	令和5年度CCグループ名簿
414	13	CC関連病院調査結果
414	14	教育活動における新型コロナウイルス対策に関するワーキンググループ検討資料
414	15	COVID-19 対応発信内容
415	1	獨協医科大学医学部試験及び成績評価に関する規程
415	2	獨協医科大学医学部における成績評価異議申し立てに関する規程
415	3	令和5年度GPA分布表
415	4	語学選択科目における成績評価比較表
415	5	令和5年度試験時間割（抜粋）
415	6	獨協医科大学医学部進級判定及び卒業判定に係る細則
415	7	令和5年度医学部における成績不振学生の基準設定及びこれに対する個別指導の方法
415	8	令和5年度成績不振学生に対する個別指導の実施報告書（抜粋）
415	9	令和4年度CC項目別評価表
415	10	令和4年度医学部ディプロマ・ポリシー到達度調査結果
415	11	獨協医科大学学位規程

414	14	COVID-19 対応発信文書（教育活動における新型コロナウイルス対策に関するワーキンググループ関係）
414	15	令和4年度COVID-19 対応時系列1～4年（授業関係）
414	16	令和4年度COVID-19 対応時系列5～6年（授業関係）
415	1	獨協医科大学医学部試験及び成績評価に関する規程
415	2	獨協医科大学医学部における成績評価異議申し立てに関する規程
415	3	令和4年度試験実施状況
415	4	オンライン試験の実施状況
415	5	獨協医科大学医学部進級判定及び卒業判定に係る細則
415	6	令和4年度医学部における成績不振学生の基準設定及びこれに対する個別指導の方法
415	7	令和4年度成績不振学生に対する個別指導の実施報告書（抜粋）
415	8	令和3年度CC項目別評価表
415	9	令和3年度医学部ディプロマ・ポリシー到達度調査結果
415	10	獨協医科大学学位規程
416	1	令和3年度医学部授業評価結果
416	2	令和3年度医学部卒業時アンケート結果
416	3	令和3年度医学部教育における成果に関するアンケート（卒業生）
416	4	令和3年度医学部教育における成果に関するアンケート（臨床研修指導医）
416	5	令和3年度医学部教育における成果に関するアンケート（事業所）
416	6	実務家教員からの意見聴取結果
416	7	令和4年度第3回カリキュラム委員会議事要録
416	8	令和4年度第2回教育技法委員会議事要録
416	9	令和4年度基幹診療科実習共通プログラム
416	10	令和4年度基幹診療科実習アンケート結果
416	11	臨床実習における形成的評価方法（ルーブリック等）の導入状況に関するアンケート集計結果
416	12	医学部模範解答（抜粋）
417	1	令和4年度第1回医学部自己点検・評価委員会議事要録（R4.6.29）
417	2	令和4年度第2回医学部自己点検・評価委員会議事要録（R4.7.6）
417	3	令和3年度医学部自己点検・評価報告書

416	1	令和4年度医学部授業評価結果
416	2	令和4年度医学部卒業時アンケート結果
416	3	令和4年度医学部教育における成果に関するアンケート（卒業生）
416	4	令和4年度医学部教育における成果に関するアンケート（臨床研修指導医）
416	5	令和4年度医学部教育における成果に関するアンケート（事業所）
416	6	実務家教員からの意見聴取結果
416	7	令和5年度第5回カリキュラム委員会議事要録
416	8	令和5年度第2回教育技法委員会議事要録
416	9	令和5年度基幹診療科実習共通プログラム
416	10	令和5年度基幹診療科実習アンケート結果
416	11	臨床実習における形成的評価方法（ルーブリック等）の導入状況に関するアンケート集計結果
416	12	医学研究実習ルーブリック評価表
416	13	医学部模範解答（抜粋）
417	1	令和5年度第1回医学部自己点検・評価委員会議事要録（R5.6.26）
417	2	令和4年度医学部自己点検・評価報告書 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/evaluation/r04/003.pdf
417	3	医学部卒業生への勤務先等に係わるアンケート（24・25期生対象）
417	4	第26回医学教育ワークショップ関係資料

		https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/evaluation/r03/003.pdf
417	4	医学部卒業生への勤務先等に係わるアンケート（22・23期生対象）
417	5	令和4年度医学部第1学年リーディングスキルテスト結果
417	6	医学部教育改善に係わる取組事例（オンライン教育関係）
417	7	医学部コンピテンシー・マイルストーン策定に係る議事録抜粋

医学部自己点検・評価報告書

基準5	学生の受け入れ
-----	---------

1. 自己点検・評価結果（評定）

※自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入。

A：ほぼ完全にできている（90点以上）、B：合格点だが改善の余地あり（60～90点）

C：もう少しで及第点（40～60点）、D：全くできていないか抜本的な改善が必要（0～40点）

2023（令和5）年度		
項目 No.	点検・評価項目 評価の視点	自己 評価
511	①学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。 ○学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針の適切な設定及び公表 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ホームページ（資料511-1）、募集要項（資料511-2～6）、パンフレット（資料511-7）にて公表。	A
	○下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針の設定 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成：入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像は、各入学者選抜において、試験科目及び出題範囲として募集要項に具体的に明示。（資料511-2～6） 達成：アドミッションポリシーの中に高等学校段階までにどのような力を培うことを求めているか、その力をどのような基準・方法によって評価するのか、高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等を具体的に明示。（資料511-1） また、3ポリシーの関連性について、わかりやすく図表化している。（資料511-8） 対応：教学マネジメント委員会において審議決定。	A
512	②学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	A
	○学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度の適切な設定 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成：学生募集及び広報活動は、パンフレット（資料511-7）、各学生募集要項（資料511-2～6）、ホームページ（資料512-1）、受験雑誌等（資料512-2）、進学相談会（資料512-3）、高校進路指導部教員との懇談会、（資料512-4）、オープンキャンパス、コロナに罹患した方や遠方により来学で	

2022（令和4）年度		
項目 No.	点検・評価項目 評価の視点	自己 評価
511	①学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。 ○学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針の適切な設定及び公表 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ホームページ（資料511-1）、募集要項（資料511-2～6）、パンフレット（資料511-7）にて公表。	A
	○下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針の設定 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成：入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像は、各入学者選抜において、試験科目及び出題範囲として募集要項に具体的に明示。（資料511-2～6） 達成：アドミッションポリシーの中に高等学校段階までにどのような力を培うことを求めているか、その力をどのような基準・方法によって評価するのか、高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等を具体的に明示。（資料511-1） また、3ポリシーの関連性について、わかりやすく図表化している。（資料511-8） 対応：教学マネジメント委員会において審議決定。	A
512	②学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	A
	○学生の受け入れ方針に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度の適切な設定 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成：学生募集方法は、パンフレット（資料511-7）、各学生募集要項（資料511-2～6）、ホームページ（資料512-1）、受験雑誌等（資料512-2）、進学相談会（資料512-3）、高校進路指導部教員との懇談会はZoom（資料512-4）、オープンキャンパスはコロナ禍により、ホームページ	

	<p>きない方などに配慮してオンライン講義・講話を行い(資料512-5)、大学祭(獨医祭)にて医学部在学生による個別相談を対面で実施。(資料512-6)</p> <p>対応:入試委員会にてCOVID-19等に対応したオープンキャンパス内容を検討。(資料512-7)</p> <p>達成:入学者選抜制度の適切な設定は総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校制)、(指定校制(栃木県地域枠))、(公募(地域特別枠))、(系列校)、一般選抜(前期・後期)、大学入学共通テスト利用選抜、地域枠の8種類の選抜方法を導入しており、各選抜方式の特性に応じ、各種の試験方法を取り入れて、公平かつ公正な入学者選抜を実施。(資料511-2~6)</p> <p>達成:(学生募集)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高大連携への取組み 学校推薦型選抜(系列校)を導入し、系列高校との協議会を開催したうえで、在学生(中学生・高校生)への模擬講義、並びに入学予定者への入学前教育を実施した。(資料512-8~12) <p>対応:複数名の本学教員、系列校教員で構成された高大接続WGにおいて、高大接続の目標、目的、要望、具体的な実施内容などについて複数回にわたり協議した。(資料512-8~11)</p>	
○授業料その他の費用や経済的支援に関する情報提供 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)	<p>達成:受験生、父母及び社会の人々に広く情報提供できるようホームページ(資料512-1)、各学生募集要項(資料511-2~6)、進学相談会等(資料512-3)にて公表している。</p> <p>達成:日本学生支援機構奨学金に加え、大学独自の奨学金制度や共通テスト利用・一般選抜における成績優秀者に対する入学一時金減免制度を設けている。(資料512-13~14)</p>	A
○入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)	<p>達成:全ての入学者選抜を適切かつ円滑に実施するため、入試委員会が置かれている。入試委員会規程には、学長直属の組織であることが定められており、本規定のもと学長が指名した入試委員長が統括し、入学者選抜の実施に関して必要な事項の審議・決定を行っている。また、入試業務を実施するために、問題点検委員、論文委員等の専門委員を置き、面接委員や試験監督の選出も行っている。なお、公平公正に運営するため、委員の任期は1期2年、最長2期4年と定められている。(資料512-15)</p>	A

	<p>にてWEBオープンキャンパス及びオンライン講義・講話(資料512-5)、大学祭(獨医祭)にて医学部在学生による個別相談を対面で実施。(資料512-6)</p> <p>対応:入試委員会にてCOVID-19に対応したオープンキャンパス内容を検討。(資料512-7)</p> <p>達成:入学者選抜制度の適切な設定は総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校制)、(指定校制(栃木県地域枠))、(公募(地域特別枠))、(系列校)、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、栃木県地域枠の8種類の選抜方法を導入しており、各選抜方式の特性に応じ、各種の試験方法を取り入れて、公平かつ公正な入学者選抜を実施。(資料511-2~6)</p> <p>達成:(学生募集)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高大連携への取組み 学校推薦型選抜(系列校)を導入し、系列高校との協議会を開催したうえで、在学生(高校生)への模擬講義・体験実習及び入学前教育を実施した。(資料512-8~12) <p>対応:複数名の本学教員、系列校教員で構成された高大接続WGにおいて、高大接続の目標、目的、要望、具体的な実施内容などについて複数回にわたり協議した。(資料512-8~11)</p>	
○授業料その他の費用や経済的支援に関する情報提供 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)	<p>達成:受験生、父母及び社会の人々に広く情報提供できるようホームページ(資料512-1)、各学生募集要項(資料511-2~6)、パンフレット(資料511-7)にて公表している。</p>	A
○入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)	<p>達成:入試委員会(資料512-13)</p> <p>対応:昨年度までは入学者選抜試験を適切かつ円滑に実施するため、その特性に鑑みて、総合型選抜入試委員会と医学部入試委員会の2つの委員会を設置し、総合型選抜入試委員会は総合型選抜、医学部入試委員会は学校推薦型および一般選抜に係る業務を行っていたが、業務の効率</p>	A

<p>○公正な入学者選抜の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：合格者は予備判定を入試委員会、判定は受験生名等をマスキングして教授会で行い、入試結果について学事報告として理事長に報告し、学外者を含む理事・監事等からチェックを受けている。(資料 512-16～17) 面接試験は公平かつ公正になるよう複数名及び原則として男女で構成して評価している (資料 512-18～23)。また、入学志願者に親族や何かしらの関係性を持っている者がいる教職員は面接員として関与しないこととしている (資料 512-24～26)。</p> <p>達成：(入学者選抜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観評価に伴う面接方法の改善 <p>面接評価の標準化を図るため、学校推薦型選抜においてMMI (multiple mini interview) 形式による面接を導入。(資料 511-3～5)</p>	<p style="text-align: center;">A</p>

<p>化等を図ることを目的に 2022 (令和 4) 年 4 月から両委員会を医学部入試委員会に統合した。(資料 512-14)</p>	
<p>○公正な入学者選抜の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：合格者は予備判定を各入試委員会、判定は受験生名等をマスキングして教授会で行い、入試結果について学事報告として理事長に報告し、学外者を含む理事・監事等からチェックを受けている。(資料 512-15～16) 面接試験は公平かつ公正になるよう複数名及び男女で構成して評価している (資料 512-17～21)。また、入学志願者に親族や何かしらの関係性を持っている者がいる教職員は面接員として関与しないこととしている (資料 512-22～24)。</p> <p>達成：(入学者選抜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観評価に伴う面接方法の改善 <p>面接評価の標準化を図るため、学校推薦型選抜においてMMI (multiple mini interview) 形式による面接を導入。(資料 511-3～5)</p> <p>達成：入学者選抜における新型コロナウイルスへの対応・対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試委員会において、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮について、全入学者選抜における対応を審議決定した。(資料 512-25) ・各入学者選抜募集要項に「新型コロナウイルス感染症対策 (受験生の対応) について」を記載。(資料 511-2～6) ・各選抜別に「受験生に対する要請事項」をホームページに掲載し、試験日及び試験日までの対応 (マスクの着用、自己検温など) について注意喚起した。(資料 512-26～29) ・ホームページに「試験場の衛生管理体制等の構築 (医学部対応)」を掲載し、試験会場各所に手指衛生材料を設置することなど、本学医学部が講じる感染対策状況について詳細説明した。(資料 512-30) ・接触回避の観点から全入学者選抜の入学手続きを郵送手続きのみで実施。 <p>対応：(総合型選抜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ試験：受験生及び評価者の感染対策等を考慮し、従前より広い部屋である創立 30 周年記念館 2 階研修室にて、受験生並びに評価者はフェイスシールドを着用のうえ、受験生は一人 1 本マイクを使用して実施した。また、評価者の半数は関漣記念ホールにおいてスクリーンに受験生の様子を写し出して評価した。(資料 512-31) ・個人面接：受験生及び面接官の前にアクリルパーテーションの設置。(資料 512-32) <p>(学校推薦型選抜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦指定校進路指導部教員との懇談会を Z o o mにて開催。(資料 512-33) 	<p style="text-align: center;">A</p>

	<p>・オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施</p>	
	<p>○入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：一般選抜問題の作成は外部機関と本学出題委員によるダブルチェック体制とし、入学志願者に親族や何かしらの関係性を持っている者がいる教職員は試験問題の作成、点検に関与しないこととしている。(資料 512-27~28)</p> <p>一般選抜では、透明性を証明するため、希望者に対し成績開示を行っているが、JACME における評価により部分的適合と指摘され、改善のための示唆とされた「入学決定に対する疑義申し立て制度を採用することが望まれる。」について、入試委員会において審議、改善した。(資料 512-29~30)</p> <p>疑義申し立て申請の受付方法等について、入試委員会において審議した。(資料 512-31)</p> <p>一般選抜（前期）第 1 次試験を東京会場で行い、受験生への利便性を図る。</p> <p>一般選抜（前期）においては第 1 次試験日を 2 日間設け、加えて一般選抜（後期）を新規導入し受験生の受験機会を増やす。</p> <p>達成：受験特別措置</p> <p>疾病・負傷や身体障害等により受験上特別な配慮を希望する受験生からの申請を受け付けており、それをホームページ（資料 512-1）、募集要項（資料 511-2~6）にて周知している。</p> <p>・オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保 (受験者の通信状況の配慮等)</p>	A
513	<p>③適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。</p> <p>○入学定員及び収容定員の適切な設定と在籍学生数の管理 <学士課程></p> <p>・入学定員に対する入学者数比率</p>	C

	<p>・個人面接：受験生及び面接官の前にアクリルパーテーションを設置し、面接終了ごとに清拭。(資料 512-34)</p> <p>(一般選抜)</p> <p>・追試験日の設定及び実施 (資料 512-35)</p> <p>・個人面接：受験生及び面接官の前にアクリルパーテーションを設置し、面接終了ごとに清拭。(資料 512-36)</p> <p>(大学入学共通テスト利用選抜)</p> <p>・個人面接：受験生及び面接官の前にアクリルパーテーションを設置し、面接終了ごとに清拭。(資料 512-36)</p>	
	<p>・オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施</p>	
	<p>○入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：一般選抜問題の作成は外部機関と本学出題委員によるダブルチェック体制とし、入学志願者に親族や何かしらの関係性を持っている者がいる教職員は試験問題の作成、点検に関与しないこととしている。(資料 512-37~38)</p> <p>一般選抜では、透明性を証明するため、希望者に対し成績開示を行っているが、JACME における評価により部分的適合と指摘され、改善のための示唆とされた「入学決定に対する疑義申し立て制度を採用することが望まれる。」について、入試委員会において審議、改善した。(資料 512-39~40)</p> <p>一般選抜第 1 次試験において東京会場の増設を行い、受験生への利便性を図る。</p> <p>一般選抜第 1 次試験日を 2 日間設け、受験生の受験機会を増やす。</p> <p>達成：受験特別措置</p> <p>疾病・負傷や身体障害等により受験上特別な配慮を希望する受験生からの申請を受け付けており、それをホームページ（資料 512-1）、募集要項（資料 511-2~6）にて周知している。</p> <p>・オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保 (受験者の通信状況の配慮等)</p>	A
513	<p>③適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。</p> <p>○入学定員及び収容定員の適切な設定と在籍学生数の管理 <学士課程></p> <p>・入学定員に対する入学者数比率</p>	C

	<p>入学者 122 名／入学定員 120 名=1.00 (2023 (令和 5) 年度入試 (2022 (令和 4) 年度実施))</p> <p>入学者 122 名のうち 2 名は追試験合格者であり、文部科学省発信の「大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準附則第 2 項第 1 号」に基づき、入学者数比率の算定には含まない。(資料 513-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 <p>在籍学生数 743／収容定員 720=1.03 (2023 (令和 5) 年度) 直近 5 年間=1.03</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：入学定員に対する入学者数比率は 1.00 と適正に管理。</p> <p>未達：第 2 期で努力課題とされていた収容定員に対する在籍学生比率は、前年度と比して改善されたものの、5 年間平均では 1.03 であり未だ高い比率である。</p> <p>対応：留年率を低くするため、成績不振者に対しての個別対応の強化 (指導マニュアルあり)。</p>	
	<p><修士課程、博士課程、専門職学位課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容定員に対する在籍学生数比率 <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 	
514	<p>④学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>○適切な根拠 (資料、情報) に基づく定期的な点検・評価</p> <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学部自己点検・評価委員会が組織され、適切な根拠に基づく点検・評価が行われた。(資料 417-1~2) ・入試委員会において、入試種別ごとに検証。(資料 514-1~4) 	A
	<p>○点検・評価結果に基づく改善・向上</p> <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：入試委員会において入学者のストレート卒業・国試合格調査や卒業後の進路状況を検証し、現行の各入学者選抜の適切性を確認した。</p> <p>一般選抜 (前期) において、埼玉県、茨城県、新潟県地域枠、各県 2 名の募集人員により新規導入した。(資料 514-5)</p> <p>大学入学共通テスト利用選抜の募集人員を 5 名減員し、一般選抜の募集人員を 5 名増員。更に一般選抜を前後期に分離し、一般選抜 (後期) を 10 名の募集人員により新規導入した。(資料 512-30、514-5)</p> <p>対応：入試検討委員会及び入試委員会において選抜内容等について検討し改善を図る。(資料 514-6)</p>	A

	<p>入学者 121 名／入学定員 120 名=1.00 (2022 (令和 4) 年度入試 (2021 (令和 3) 年度実施))</p> <p>入学者 121 名のうち 1 名は追試験合格者であり、文部科学省発信の「大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準附則第 2 項第 1 号」に基づき、入学者数比率の算定には含まない。(資料 513-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 <p>在籍学生数 727／収容定員 720=1.01 (2022 (令和 4) 年度) 直近 5 年間=1.03</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：入学定員に対する入学者数比率は 1.00 と適正に管理。</p> <p>未達：第 2 期で努力課題とされていた収容定員に対する在籍学生比率は、前年度と比して改善されたものの、5 年間平均では 1.03 であり未だ高い比率である。</p> <p>対応：留年率を低くするため、成績不振者に対しての個別対応の強化 (指導マニュアルあり)。</p>	
	<p><修士課程、博士課程、専門職学位課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容定員に対する在籍学生数比率 <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 	
514	<p>④学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>○適切な根拠 (資料、情報) に基づく定期的な点検・評価</p> <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学部自己点検・評価委員会が組織され、適切な根拠に基づく点検・評価が行われた。(資料 417-1~3) ・入試委員会において、入試種別ごとに検証。(資料 514-1) 	A
	<p>○点検・評価結果に基づく改善・向上</p> <p>(達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成：入試委員会において入学者のストレート卒業・国試合格調査や卒業後の進路状況を検証し、現行の各入学者選抜の適切性を確認した。</p> <p>対応：入試検討委員会及び入試委員会において選抜内容等について検討し改善を図る。(資料 514-2)</p>	A

2. 根拠資料（名称）

2023（令和5）年度		
項目No.	資料番号	根拠資料の名称
511	1	学生の受け入れ方針[ホームページ][医学部][受験生の皆さん][アドミッションポリシー] https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/admission.html
511	2	令和6年度医学部総合型選抜募集要項
511	3	令和6年度医学部学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））募集要項
511	4	令和6年度医学部学校推薦型選抜（指定校制・指定校制（栃木県地域枠））募集要項
511	5	令和6年度医学部学校推薦型選抜（系列校）募集要項
511	6	令和6年度医学部共通テスト利用・一般・地域枠選抜募集要項
511	7	2024年医学部大学案内（パンフレット）
511	8	3ポリシー関連図表
512	1	[ホームページ][医学部][受験生の皆さん] https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/
512	2	医学部広報
512	3	医学部進学相談会
512	4	医学部学校推薦型選抜関連進路指導部教員との懇談会
512	5	令和5年度医学部オープンキャンパス、オンライン講義・講話
512	6	大学祭における医学部在学生による個別相談
512	7	令和6年度第1回医学部入試委員会議事要録（令和5年4月10日開催）
512	8	獨協中学・高等学校及び獨協埼玉中学高校と獨協医科大学との高大連携協力に関する覚書
512	9	令和5年度第1回獨協学園高大接続WG協議会議事要録
512	10	令和5年度第2回獨協学園高大接続WG協議会議事要録
512	11	令和5年度獨協学園高大接続合同研修会議事要録
512	12	令和5年度獨協学園（獨協中学高等学校・獨協埼玉中学高等学校）高大接続関係実績（模擬講義・入学前教育）
512	13	医学部奨学金概要（令和5年度）
512	14	入学一時金減免規程
512	15	医学部入試委員会規程

2022（令和4）年度		
項目No.	資料番号	根拠資料の名称
511	1	学生の受け入れ方針[ホームページ][医学部][受験生の皆さん][アドミッションポリシー] https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/admission.html
511	2	令和5年度医学部総合型選抜募集要項
511	3	令和5年度医学部学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））募集要項
511	4	令和5年度医学部学校推薦型選抜（指定校制・指定校制（栃木県地域枠））募集要項
511	5	令和5年度医学部学校推薦型選抜（系列校）募集要項
511	6	令和5年度医学部共通テスト利用・一般・栃木県地域枠選抜募集要項
511	7	2023年医学部大学案内（パンフレット）
511	8	3ポリシー関連図表
512	1	[ホームページ][医学部][受験生の皆さん] https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/exam/
512	2	医学部広報
512	3	医学部進学相談会
512	4	医学部推薦指定校進路指導部教員との懇談会
512	5	令和4年度医学部Webオープンキャンパス実施要領
512	6	医学部在学生による個別相談（メルマガ配信）
512	7	令和5年度第2回医学部入試委員会議事要録
512	8	獨協中学・高等学校及び獨協埼玉中学高校と獨協医科大学との高大連携協力に関する覚書
512	9	令和4年度獨協学園高大接続WG協議会（本学のみ）議事要録（第1回）
512	10	令和4年度獨協学園高大接続WG協議会（3校合同）議事要録（第1回～第2回）
512	11	令和4年度獨協学園高大接続合同研修会議事要録
512	12	令和4年度獨協学園（獨協中学高等学校・獨協埼玉中学高等学校）高大接続関係実績（模擬講義・体験実習・入学前教育）
512	13	医学部入試委員会規程
512	14	医学部入試委員会及び医学部総合型選抜入試委員会の統合について（学長諮問会議資料）
512	15	入試日程と実施状況（2022年度）

512	16	入試日程と実施状況（2023年度）
512	17	令和6年3月獨協学園理事会議事録
512	18	医学部総合型選抜面接委員の編成
512	19	医学部学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））面接委員の編成
512	20	医学部学校推薦型選抜（指定校制・系列校1日目）面接委員の編成
512	21	医学部学校推薦型選抜（系列校2日目）面接委員の編成
512	22	医学部一般選抜（前期）第2次試験面接委員の編成
512	23	医学部共通テスト利用・一般選抜（後期）第2次試験面接委員の編成
512	24	面接委員の留意事項
512	25	医学部学校推薦型選抜面接委員の秘密保持に関する誓約書
512	26	医学部共通テスト利用・一般選抜第2次試験面接委員の秘密保持に関する誓約書
512	27	入試問題に関する留意事項
512	28	入試問題点検委員の秘密保持に関する誓約書
512	29	成績開示申請書
512	30	令和5年度第14回入試委員会議事要録（令和5年3月13日開催）
512	31	令和6年度第12回入試委員会議事要録（令和6年1月15日開催）
513	1	大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準
514	1	追跡調査資料
514	2	第1学年末平均点と入試成績の相関係数の比較資料
514	3	令和6年度第2回入試委員会議事要録（令和5年5月8日開催）
514	4	令和6年度第9回入試委員会議事要録（令和5年11月14日開催）
514	5	令和4年度第2回医学部入試検討委員会議事録（令和5年1月20日開催）
514	6	令和6年度（令和5年度実施）医学部入学者選抜の変更点

512	16	令和5年3月獨協学園理事会議事録
512	17	医学部総合型選抜面接委員の編成
512	18	医学部学校推薦型選抜（公募（地域特別枠））面接委員の編成
512	19	医学部学校推薦型選抜（指定校制・系列校1日目）面接委員の編成
512	20	医学部学校推薦型選抜（系列校2日目）面接委員の編成
512	21	医学部共通テスト利用・一般選抜第2次試験面接委員の編成
512	22	面接委員の留意事項
512	23	医学部学校推薦型選抜面接委員の秘密保持に関する誓約書
512	24	医学部共通テスト利用・一般選抜第2次試験面接委員の秘密保持に関する誓約書
512	25	新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮
512	26	医学部総合型選抜受験生に対する要請事項
512	27	医学部学校推薦型選抜受験生に対する要請事項
512	28	医学部一般選抜第1次試験受験生に対する要請事項
512	29	医学部共通テスト利用選抜・一般選抜第2次試験受験生に対する要請事項
512	30	試験場の衛生管理体制等の構築（医学部対応）
512	31	医学部総合型選抜ワークショップ試験レイアウト
512	32	医学部総合型選抜個人面接レイアウト
512	33	医学部推薦指定校進路指導部教員との懇談会実施要領
512	34	医学部学校推薦型選抜個人面接MMIレイアウト
512	35	医学部一般選抜受験者に対する救済措置
512	36	医学部共通テスト利用・一般選抜個人面接レイアウト
512	37	入試問題に関する留意事項
512	38	入試問題点検委員の秘密保持に関する誓約書
512	39	成績開示申請書
512	40	令和5年度第14回入試委員会議事要録（令和5年3月13日開催）
513	1	大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準
514	1	追跡調査資料
514	2	令和5年度第1回医学部入試委員会議事要録

医学部自己点検・評価報告書

基準7	学生支援
-----	------

1. 自己点検・評価結果（評定）

※自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入。

A：ほぼ完全にできている（90点以上）、B：合格点だが改善の余地あり（60～90点）

C：もう少しで及第点（40～60点）、D：全くできていないか抜本的な改善が必要（0～40点）

2023（令和5）年度		
項目 No.	点検・評価項目 評価の視点	自己 評価
711	<p>①学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学生支援に関する大学としての方針を明示しているか。</p> <p>○大学の理念・目的、入学者の傾向等を踏まえた学生支援に関する大学としての方針の適切な明示 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成： <ul style="list-style-type: none"> ・2023（令和5）年度大学運営に関する基本方針の中で明示している。(資料711-1) ・生活支援や進路支援などは、2020（令和2）年11月開催学生生活委員会において「獨協医科大学における学生支援に関する方針」を検討され、2021（令和3）年4月1日に制定した。なお、大学ホームページの情報公表において掲載している。(資料711-2) </p>	A
712	<p>②学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。</p> <p>○学生支援体制の適切な整備 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成： <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント委員会の設置。(資料712-1) ・医学部学生生活委員会の設置。(資料712-2) ・学生支援に関する各種センター等の設置（教育支援センター、国際協力・支援センター、情報基盤センター）。(資料712-3) ・2023（令和5）年度医学部学生生活役職者 (資料712-4) ・2023（令和5）年度医学部学年担任・副担任制実施要領（第1学年 統括担任1名 担任16名 副担任5名 第2学年 担任5名 副担任5名 第3学年 担任4名 第4学年～第6学年 担任各学年3名が配置）(資料712-5) ・チューター制度の導入。(資料712-6～8) </p>	B

2022（令和4）年度		
項目 No.	点検・評価項目 評価の視点	自己 評価
711	<p>①学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学生支援に関する大学としての方針を明示しているか。</p> <p>○大学の理念・目的、入学者の傾向等を踏まえた学生支援に関する大学としての方針の適切な明示 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成： <ul style="list-style-type: none"> ・2022（令和4）年度大学運営に関する基本方針の中で明示している。(資料711-1) ・生活支援や進路支援などは、2020（令和2）年11月開催学生生活委員会において「獨協医科大学における学生支援に関する方針」を検討され、2021（令和3）年4月1日に制定した。なお、大学ホームページの情報公表において掲載している。(資料711-2) </p>	A
712	<p>②学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。</p> <p>○学生支援体制の適切な整備 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)</p> <p>達成： <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント委員会の設置。(資料712-1) ・医学部学生生活委員会の設置。(資料712-2) ・学生支援に関する各種センター等の設置（教育支援センター、国際協力・支援センター、情報基盤センター）。(資料712-3) ・2022（令和4）年度医学部学生生活役職者 (資料712-4) ・2022（令和4）年度医学部学年担任・副担任制実施要領（第1学年 統括担任1名 担任15名 副担任5名 第2学年 担任5名 第3学年 担任4名 第4学年～第6学年 担任各学年3名が配置）(資料712-5) ・チューター制度の導入。(資料712-6～8) ・2022（令和4）年度医学部学生生活のしおりの発行及びホームページへの掲載。(資料412-3) </p>	B

<ul style="list-style-type: none"> ・2023（令和5）年度医学部学生生活のしおりの発行及びホームページへの掲載。（資料412-3） ・2023（令和5）年度学生生活実態調査の実施。（資料712-9） ・関記念学生館（女子寮）の運営。（資料712-10～11） <p>未達： ピアサポートセンターの設置などピアサポート体制の構築。</p> <p>対応： 医学部学生支援相談窓口を設置する。教員の他、学生（学生サポーター）を相談員の一員に位置付けている。（2022（令和4）年度より運用開始）（資料712-12～13）</p>	
<p>○学生の修学に関する適切な支援の実施 （達成されていること、されていないこと 箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由選択科目の開設。（資料712-14） ・COVID-19の影響により第6学年の国家試験対策夏合宿は実施を見送り、冬合宿は学内で宿泊を伴わない形式で実施した。（資料712-15） ・ナイター（少人数セミナー）の実施。（資料712-16） <ul style="list-style-type: none"> ・正課外教育 <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学コンソーシアムとちぎに参画。（資料712-17） ・ECL（English community Lounge）の設置。学生食堂棟2階ロビーに移転し、学生が利用しやすくなった（ホームページ作成）。（資料712-18～19） <ul style="list-style-type: none"> ・自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談対応、その他学習支援 <p>達成：</p> <p>PDF資料の配付や講義収録動画を視聴するためのLMS（ Moodle ）の使用法等についてサポートを行うことを目的に、マニュアルを作成、配付している他、専用メールアドレスを開設し、学生からの相談に対応している。（資料712-20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン教育を行う場合における学生の通信環境への配慮（通信環境確保のための支援、授業動画の再視聴機会の確保など） <p>達成：</p> <p>大教室で学年全員が受ける授業については、収録を行い、自主学習用として後日LMS上で配信している。（資料413-11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 <p>達成：</p> <p>国際協力・支援センター内に、「日独連携推進室」「国際交流支援室」を設置。（資料712-21）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある学生に対する修学支援 	A

<ul style="list-style-type: none"> ・2022（令和4）年度学生生活実態調査の実施。（資料712-9） ・関記念学生館（女子寮）の運営。（資料712-10～11） <p>未達： ピアサポートセンターの設置などピアサポート体制の構築。</p> <p>対応： 医学部学生支援相談窓口を設置する。教員の他、学生（学生サポーター）を相談員の一員に位置付けている。（2022（令和4）年度より運用開始）（資料712-12～13）</p>	
<p>○学生の修学に関する適切な支援の実施 （達成されていること、されていないこと 箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由選択科目の開設。（資料712-14） ・COVID-19の影響により第6学年の国家試験対策夏合宿は実施を見送り、冬合宿は学内で宿泊を伴わない形式で実施した。（資料712-15） ・ナイター（少人数セミナー）の実施。（資料712-16） <ul style="list-style-type: none"> ・正課外教育 <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学コンソーシアムとちぎに参画。（資料712-17） ・ECL（English community Lounge）の設置。学生食堂棟2階ロビーに移転し、学生が利用しやすくなった（ホームページ作成）。（資料712-18～19） <ul style="list-style-type: none"> ・自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談対応、その他学習支援 <p>達成：</p> <p>学生のPCの操作方法や不具合・故障時のサポートを行うことを目的に、PCサポートに関する委託契約を締結し実施している。（資料712-20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン教育を行う場合における学生の通信環境への配慮（通信環境確保のための支援、授業動画の再視聴機会の確保など） <p>達成：</p> <p>オンデマンドによる授業配信の実施（資料414-12～13）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 <p>達成：</p> <p>国際協力・支援センター内に、「日独連携推進室」「国際交流支援室」を設置。（資料712-23（既出311-15））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある学生に対する修学支援 <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学構内に一部、手すり、スロープ、障がい者用トイレ、障がい者用エレベーターの設置（2022（令和4）年度現在、障がい者の在籍無し）。 	A

	<p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学構内に一部、手すり、スロープ、障がい者用トイレ、障がい者用エレベーターの設置（2022（令和4）年度現在、障がい者の在籍無し）。 ・障がいのある学生に対する修学支援に関する基本方針（資料 712-22） <p>・成績不振の学生の状況把握と指導</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績不振学生の基準設定及び個別指導の実施。（資料 415-7～8） ・2023（令和5）年度新旧合同学年担任会議の開催。（資料 712-23） ・2023（令和5）年度各学年担任会議の開催。（資料 712-24） ・各学期末における追・再試験該当者判定結果の活用。（資料 712-25） ・進級判定会議資料の活用。（資料 712-26） ・出欠調査の活用。（資料 712-27） ・進級状況一覧表の活用。（資料 712-28） ・除籍対象者一覧表の活用。（資料 712-29） ・医学部における成績不振学生のサークル・愛好会活動に係る取扱要領（資料 712-30） ・e-ポートフォリオ（Active Academy）の活用。（資料 712-31） ・大学病院エリアの無線LAN整備の推進 <p>・留年者及び休学者の状況把握と対応</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任もしくはチューターによる本人・保護者との面談。 ・医学部教務委員会及び医学部教授会での審議。（資料 712-32） ・進級状況一覧表の活用。（資料 712-28） ・除籍対象者一覧表の活用。（資料 712-29） <p>・退学希望者の状況把握と対応</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任もしくはチューターによる本人・保護者との面談。 ・医学部教務委員会及び医学部教授会での審議。（資料 712-32） ・進級状況一覧表の活用。（資料 712-28） ・除籍対象者一覧表の活用。（資料 712-29） <p>・奨学金その他の経済的支援の整備</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学独自の奨学金の制定。（資料 712-33） ・外部機関による奨学金制度の募集。（資料 712-34） ・2023（令和5）年度日本学生支援機構奨学金に関する周知をオリエンテーションで実施。（資料 712-35） <p>・授業その他の費用や経済的支援に関する情報提供</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生課窓口に奨学金/就職・セミナーの案内ファイルを設置及び専用掲示板を設置し、自由に閲覧できるようにしている。 	
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある学生に対する修学支援に関する基本方針（資料 712-22） <p>・成績不振の学生の状況把握と指導</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績不振学生の基準設定及び個別指導の実施。（資料 415-6～7） ・2022（令和4）年度新旧合同学年担任会議の開催。（資料 712-23） ・2022（令和4）年度各学年担任会議の開催。（資料 712-24） ・各学期末における追・再試験該当者判定結果の活用。（資料 712-25） ・進級判定会議資料の活用。（資料 712-26） ・出欠調査の活用。（資料 712-27） ・進級状況一覧表の活用。（資料 712-28） ・除籍対象者一覧表の活用。（資料 712-29） ・医学部における成績不振学生のサークル・愛好会活動に係る取扱要領（資料 712-30） ・e-ポートフォリオ（Active Academy）の活用（資料 712-31） ・大学病院エリアの無線LAN整備の推進 <p>・留年者及び休学者の状況把握と対応</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任もしくはチューターによる本人・保護者との面談。 ・医学部教務委員会及び医学部教授会での審議。（資料 712-32） ・進級状況一覧表の活用。（資料 712-28） ・除籍対象者一覧表の活用。（資料 712-29） <p>・退学希望者の状況把握と対応</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任もしくはチューターによる本人・保護者との面談。 ・医学部教務委員会及び医学部教授会での審議。（資料 712-32） ・進級状況一覧表の活用。（資料 712-28） ・除籍対象者一覧表の活用。（資料 712-29） <p>・奨学金その他の経済的支援の整備</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学独自の奨学金の制定。（資料 712-33） ・外部機関による奨学金制度の募集（資料 712-34） ・2022（令和4）年度日本学生支援機構奨学金に関する周知をオリエンテーションで実施。（資料 712-35） <p>・授業その他の費用や経済的支援に関する情報提供</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生課窓口に奨学金/就職・セミナーの案内ファイルを設置及び専用掲示板を設置し、自由に閲覧できるようにしている。 	
--	---	--

<p>○学生の生活に関する適切な支援の実施 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の相談に応じる体制の整備 達成： ・担任、チューター、医学部学生支援相談窓口及び事務窓口（教務課、学生課）での相談体制の構築。（資料 712-12） ・保健センター内にカウンセリングルームを設置。オンライン面談を設けた。（資料 712-36～37） ・ハラスメント（アカデミック、セクシュアル、モラル等）防止のための体制の整備 達成： ・ハラスメント防止に関する規程の制定・委員会・相談窓口の設置。（資料 712-38） ・医学部学生生活のしおりへの掲載及びホームページへの掲載。（資料 412-3） ・新入生オリエンテーションでの指導。（資料 712-35） ・学生の心身の健康、保健衛生及び安全への配慮 達成： ・保健センターによる定期健康診断及び各種予防接種の実施並びに健康管理の助言・指導。（資料 712-39～41） ・新入生全員に対するこころの健康調査の実施及び検査結果を踏まえた面談の実施。（資料 712-42） ・モーニングセミナーの実施（資料 712-43） 1年生を対象として、5月に週1回で3回、授業開始前の時間帯（8：30～8：50）を利用し、研究、社会貢献、国際交流などを通じて活躍している多様な在校生や研修医の講演を通じて新入生が大学生活をデザインするためのロールモデルを示す。学生の通学の状況を配慮し、参加できないものために講演の様子をビデオ撮影する。 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「新型コロナウイルス感染対策に係る学生の授業出席可否等の基準」を作成している。（資料 712-44） ・学生のアルバイトについて、申請制度を取り内容を見極め許可している。（資料 712-45） ・人間関係構築につながる措置の実施（学生の交流機会の確保等） 達成： ・1年生を対象として、グループ討議（学生同士が一つのテーマについて意見を伝えたり、他者の意見を聞いたり）、レクリエーションを通じてお互いのことを知り親睦を深めた。（資料 712-46） 	A
--	---

<p>○学生の生活に関する適切な支援の実施 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の相談に応じる体制の整備 達成： ・担任、チューター、医学部学生支援相談窓口及び事務窓口（教務課、学生課）での相談体制の構築。（資料 712-12） ・保健センター内にカウンセリングルームを設置。オンライン面談を設けた。（資料 712-36～37） ・ハラスメント（アカデミック、セクシュアル、モラル等）防止のための体制の整備 達成： ・ハラスメント防止に関する規程の制定・委員会・相談窓口の設置。（資料 712-38） ・医学部学生生活のしおりへの掲載及びホームページへの掲載。（資料 412-3） ・新入生オリエンテーションでの指導。（資料 712-35） ・学生の心身の健康、保健衛生及び安全への配慮 達成： ・保健センターによる定期健康診断及び各種予防接種の実施並びに健康管理の助言・指導。（資料 712-39～41） ・新入生全員に対するこころの健康調査の実施及び検査結果を踏まえた面談の実施。（資料 712-42） ・モーニングセミナーの実施（資料 712-43） 1年生を対象として、5月に週1回で3回、授業開始前の時間帯（8：30～8：50）を利用し、研究、社会貢献、国際交流などを通じて活躍している多様な在校生や研修医の講演を通じて新入生が大学生活をデザインするためのロールモデルを示す。学生の通学の状況を配慮し、参加できないものために講演の様子をビデオ撮影する。 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、原則毎週月曜日開催の「教育活動におけるコロナウイルス対策に関するワーキンググループで示された医学部教育に関する方向性について」を学生部長・教務部長名で全学生・学年担任及び副担任へ報告している。また「新型コロナウイルス感染対策に係る学生の授業出席可否等の基準」を作成。（資料 414-14、712-44） ・学生の孤立化・ストレス被害を防ぐため学年担任と学生間でZ o o m等を利用したオンライン面談を行う。（資料 712-45） ・全学生の登校に伴い、学生食堂・イルチェラーズの利用について、学年別・曜日別に利用を制限している。（資料 712-46） ・学生のアルバイトについて、申請制度を取り内容を見極め許可している。（資料 712-47） ・人間関係構築につながる措置の実施（学生の交流機会の確保等） 達成： 	A
---	---

○学生の進路に関する適切な支援の実施 ・キャリア教育の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ・臨床の教員（副担任）による学生の見学や模擬体験をすることにより、医師になるためのモチベーションをサポートする。(資料 712-47) ・学生のキャリア支援を行うための体制(キャリアセンターの設置等)の整備 達成： ・医師国家試験サポート委員会・医学部国試検討委員会の設置。(資料 712-48) ・医学部生は、厚労省による医師臨床研修マッチング制度により就職活動を行っており医学部学生支援相談窓口を設置している。(2022 (令和 4) 年度より運用開始) 病院見学に当たっては、推薦書の発行。(資料 712-13、712-49) ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 達成： ・臨床研修センターによる本学病院の臨床研修体制や将来のキャリア形成に資する説明会の開催。 ・グローバル化への対応として、国際交流支援室で、外国の大学への進学、WHOでのインターン研修希望者へのサポート及び外国医師国家試験（E C FMG等）受験、外国医療機関への就職のための書類作成等を行っている。(資料 712-50) ・博士課程における、学識を教授するために必要な能力を培うための機会の設定又は当該機会に関する情報提供 達成： 医師以外の様々な働き方について学び、学生自身のキャリア形成を支援することを目的に、弁護士や厚生労働省の医系技官経験者による講義を「メディカル・プロフェッショナルリズムIV」で実施している。(資料 413-24)	A	
○学生の正課外活動（部活動等）を充実させるための支援の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ・学友会（学生の自治会）への学友会 3 部長（主任教授からなる総務部長、文化部長、体育部長）による協力及び助言。(資料 712-51) ・2023 (令和 5) 年度学友会援助金の交付。(資料 712-52) ・学生部長及び学友会 3 部長による、各サークル幹部学生（主将・副主将）に対する指導の会議の実施。(資料 712-53)	A	
○その他、学生の要望に対応した学生支援の適切な実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)	B	

	・1年生を対象として、グループ討議（学生同士が一つのテーマについて意見を伝えたり、他者の意見を聞いたり）、レクリエーションを通じてお互いのことを知り親睦を深めた。(資料 712-48)	
○学生の進路に関する適切な支援の実施 ・キャリア教育の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ・臨床の教員（副担任）による学生の見学や模擬体験をすることにより、医師になるためのモチベーションをサポートする。(資料 712-49) ・学生のキャリア支援を行うための体制(キャリアセンターの設置等)の整備 達成： ・医師国家試験サポート委員会・医学部国試検討委員会の設置。(資料 712-50) ・医学部生は、厚労省による医師臨床研修マッチング制度により就職活動を行っており医学部学生支援相談窓口を設置している。(2022 (令和 4) 年度より運用開始) 病院見学に当たっては、推薦書の発行。(資料 712-13、712-51) ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 達成： ・臨床研修センターによる本学病院の臨床研修体制や将来のキャリア形成に資する説明会の開催。 ・グローバル化への対応として、国際交流支援室で、外国の大学への進学、WHOでのインターン研修希望者へのサポート及び外国医師国家試験（E C FMG等）受験、外国医療機関への就職のための書類作成等を行っている。(資料 712-52) ・博士課程における、学識を教授するために必要な能力を培うための機会の設定又は当該機会に関する情報提供 未達： キャリア支援に特化した講義の実施等、全学的に取組む体制の構築。 対応： 全学的に取組む体制の構築。(各部局にキャリア支援講義策定を指示)	B	
○学生の正課外活動（部活動等）を充実させるための支援の実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き) 達成： ・学友会（学生の自治会）への学友会 3 部長（主任教授からなる総務部長、文化部長、体育部長）による協力及び助言。(資料 712-53) ・2022 (令和 4) 年度学友会援助金の交付。(資料 712-54) ・学生部長及び学友会 3 部長による、各サークル幹部学生（主将・副主将）に対する指導の会議の実施。(資料 712-55)	A	
○その他、学生の要望に対応した学生支援の適切な実施 (達成されていること、されていないこと 簡条書き)	B	

	<p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学部学生生活委員会を毎月開催し、学生支援を含む学生生活全般について、報告・審議している。(資料 712-2) ・学生の代表及び学友会 3 部長による、学友会協議会の開催。(資料 712-54) ・学生総会開催への協力。(資料 712-55) <p>対応：</p> <p>要望のあるグループ学習部屋の増設など、現状では対応が困難なものについては、創立 50 周年記念事業による総合教育研究棟（仮称）の建設により改善を図る計画である。</p> <p>対応：</p> <p>30 周年記念館内トレーニングルームの施設・設備の整備。(資料 712-56)</p>	
713	<p>③学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>○適切な根拠（資料、情報）に基づく定期的な点検・評価 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学部自己点検・評価委員会が組織され、適切な根拠に基づく点検・評価が行われた。(資料 417-1~2) ・学生総会による要望や以下に示す各種アンケート結果等により状況を把握。 ・学生生活実態調査 (資料 712-9 (問 27)) ・卒業時アンケート ・卒業後アンケート ・2023 (令和 5) 年度医学部卒業生の全就職先 62 事業所に対し、人材ニーズアンケート調査を実施し医学部におけるディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) に照らし、本学卒業生の医学知識・臨床能力・学修能力・社会的視野等に関わる到達度や大学在学中に実施して欲しい教育内容・教育方法等の意見を回答いただき、教授会へ報告した。(資料 713-1~2) <p>対応：</p> <p>ホームページや学内刊行物への掲載を通じたフィードバック。</p>	A
	<p>○点検・評価結果に基づく改善・向上 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <p>以下に示す委員会及び部署等により検討し、可能なものに対して改善を図っている。</p> <p>医学部学生生活委員会 (医学部学生支援相談窓口の設置) (資料 712-2) 医師国家試験サポート委員会 (資料 712-6) 学年担任・副担任会 (第 1 学年 (統括担任 1 名、担任 15 名、副担任 5 名)、第 2 学年 (担任 5 名)、第 3 学年 (担任 4 名)、第 4~6 学年 (担任各 3 名) の各担任・副担任が受け持ち学生と個人面談を行い指導をしている) (資料 712-24) サークル主将会議 (712-53)</p>	A

	<p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学部学生生活委員会を毎月開催し、学生支援を含む学生生活全般について、報告・審議している。(資料 712-2) ・学生の代表及び学友会 3 部長による、学友会協議会の開催。(資料 712-56) ・学生総会開催への協力。(資料 712-57) <p>対応：</p> <p>要望のあるグループ学習部屋の増設など、現状では対応が困難なものについては、創立 50 周年記念事業による総合教育研究棟（仮称）の建設により改善を図る計画である。</p> <p>未達：</p> <p>30 周年記念館内トレーニングルームの施設・設備の整備。</p>	
713	<p>③学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>○適切な根拠（資料、情報）に基づく定期的な点検・評価 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学部自己点検・評価委員会が組織され、適切な根拠に基づく点検・評価が行われた。(資料 417-1~3) ・学生総会による要望や以下に示す各種アンケート結果等により状況を把握。 ・学生生活実態調査 (資料 712-9 (問 27)) ・卒業時アンケート ・卒業後アンケート ・2022 (令和 4) 年度医学部卒業生の全就職先 62 事業所に対し、人材ニーズアンケート調査を実施し医学部におけるディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) に照らし、本学卒業生の医学知識・臨床能力・学修能力・社会的視野等に関わる到達度や大学在学中に実施して欲しい教育内容・教育方法等の意見を回答いただき、教授会へ報告した。(資料 713-1~2) <p>対応：</p> <p>ホームページや学内刊行物への掲載を通じたフィードバック。</p>	A
	<p>○点検・評価結果に基づく改善・向上 (達成されていること、されていないこと 箇条書き)</p> <p>達成：</p> <p>以下に示す委員会及び部署等により検討し、可能なものに対して改善を図っている。</p> <p>医学部学生生活委員会 (医学部学生支援相談窓口の設置) (712-2) 医師国家試験サポート委員会 (資料 712-6) 学年担任・副担任会 (第 1 学年 (統括担任 1 名、担任 15 名、副担任 5 名)、第 2 学年 (担任 5 名)、第 3 学年 (担任 4 名)、第 4~6 学年 (担任各 3 名) の各担任・副担任が受け持ち学生と個人面談を行い指導をしている) (資料 712-24) サークル主将会議 (712-55)</p>	A

2. 根拠資料 (名称)

2023 (令和5) 年度		
項目No.	資料番号	根拠資料の名称
711	1	令和5年度大学運営に関する基本方針
711	2	獨協医科大学における学生支援に関する方針 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/academy/philosophy_03.pdf?v=91af36e23034316dc5b9ce5fe57de21b
712	1	教学マネジメント委員会規程
712	2	医学部学生生活委員会規程
712	3	医学部構成 (センター等) https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/organization/
712	4	令和5年度医学部学生生活関係役職者
712	5	医学部学年担任・副担任制実施要領
712	6	令和5年度医師国家試験サポート委員会年間活動概要
712	7	令和5年度第5学年テューター該当者
712	8	令和5年度第6学年テューター該当者
712	9	令和5年度学生生活実態調査結果
712	10	獨協医科大学関記念学生館規程
712	11	獨協医科大学関記念学生館利用に関する細則
712	12	医学部学生支援体制
712	13	医学部学生支援相談窓口運用要領
712	14	令和5年度自由選択科目関係資料 https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/syllabus/2023/extra/
712	15	令和5年度第6学年国試対策冬期合宿スケジュール
712	16	令和5年度ナイター (少人数セミナー) 関係資料
712	17	令和5年度大学コンソーシアムとちぎ関係資料
712	18	ECL2023 ポスター
712	19	ECL2023 実施状況 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/academy/ECL.pdf?
712	20	LMS 学生用マニュアル
712	21	国際協力・支援センターホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/research/facility/international/#gsc.tab=0
712	22	障がいのある学生に対する修学支援に関する基本方針

2022 (令和4) 年度		
項目No.	資料番号	根拠資料の名称
711	1	令和4年度大学運営に関する基本方針
711	2	獨協医科大学における学生支援に関する方針 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/academy/philosophy_03.pdf?v=91af36e23034316dc5b9ce5fe57de21b
712	1	教学マネジメント委員会規程
712	2	医学部学生生活委員会規程
712	3	医学部構成 (センター等) https://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/organization/
712	4	令和4年度医学部学生生活関係役職者
712	5	令和4年度医学部学年担任・副担任制実施要領
712	6	令和4年度医師国家試験サポート委員会年間活動概要
712	7	令和4年度第5学年テューター該当者
712	8	令和4年度第6学年テューター該当者
712	9	令和4年度学生生活実態調査結果
712	10	獨協医科大学関記念学生館規程
712	11	獨協医科大学関記念学生館利用に関する細則
712	12	医学部学生支援体制
712	13	医学部学生支援相談窓口運用要領
712	14	令和4年度自由選択科目関係資料 https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/syllabus/2022/extra/
712	15	令和4年度第6学年国試対策冬期合宿スケジュール
712	16	令和4年度ナイター (少人数セミナー) 関係資料
712	17	令和4年度大学コンソーシアムとちぎ関係資料
712	18	ECL2022 ポスター
712	19	ECL2022 実施状況 https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/academy/ECL.pdf?
712	20	学生PCサポート
712	21	国際協力・支援センターホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/research/facility/international/#gsc.tab=0
712	22	障がいのある学生に対する修学支援に関する基本方針

		https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/academy/philosophy_04.pdf?v=de5a05f2da26660e89e542845c8d720d
712	23	令和5年度新旧合同学年担任会議議事録
712	24	令和5年度第1回学年担任・副担任会議議事録
712	25	令和5年度追・再試験該当者判定結果（抜粋）
712	26	令和5年度進級判定会議資料（抜粋）
712	27	令和5年度出欠調査結果（抜粋）
712	28	令和5年度進級状況一覧表（抜粋）
712	29	令和5年度除籍対象者一覧表
712	30	医学部における成績不振学生のサークル・愛好会活動に係る取扱要領
712	31	eポートフォリオ（Active Academy）利用案内
712	32	医学部教務委員会規程
712	33	本学独自の奨学金制度一覧
712	34	公益財団法人マニー松谷医療奨学財団奨学生の募集
712	35	新入生オリエンテーション資料
712	36	保健センターホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/research/facility/health.html#gsc.tab=0
712	37	令和5年度医学部生カウンセリングルーム利用状況
712	38	ハラスメント防止に関する規程 ハラスメント防止委員会規程 ハラスメント受付相談窓口設置及び業務に関する内規
712	39	令和5年度医学部定期健康診断結果
712	40	令和5年度医学部学生保健室利用状況
712	41	令和5年度ウイルス抗体検査・予防接種状況
712	42	令和5年度新入生こころの健康調査
712	43	モーニングセミナーの実施
712	44	新型コロナウイルス感染対策に係る学生の授業出席可否等の基準
712	45	学生アルバイト申請書
712	46	親睦会イベント
712	47	令和5年度臨床体験募集
712	48	医師国家試験サポート委員会構成員、医学部国試検討委員会規程

		https://www.dokkyomed.ac.jp/files/dmu/academy/philosophy_04.pdf?v=de5a05f2da26660e89e542845c8d720d
712	23	令和4年度新旧合同学年担任会議議事録
712	24	令和4年度第1回学年担任・副担任会議議事録
712	25	令和4年度追・再試験該当者判定結果（抜粋）
712	26	令和4年度進級判定会議資料（抜粋）
712	27	令和4年度出欠調査結果（抜粋）
712	28	令和4年度進級状況一覧表（抜粋）
712	29	令和4年度除籍対象者一覧表
712	30	医学部における成績不振学生のサークル・愛好会活動に係る取扱要領
712	31	eポートフォリオ（Active Academy）利用案内
712	32	医学部教務委員会規程
712	33	本学独自の奨学金制度一覧
712	34	公益財団法人マニー松谷医療奨学財団奨学生の募集
712	35	新入生オリエンテーション資料
712	36	保健センターホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/research/facility/health.html#gsc.tab=0
712	37	令和4年度医学部生カウンセリングルーム利用状況
712	38	ハラスメント防止に関する規程 ハラスメント防止委員会規程 ハラスメント受付相談窓口設置及び業務に関する内規
712	39	令和4年度医学部定期健康診断結果
712	40	令和4年度医学部学生保健室利用状況
712	41	令和4年度ウイルス抗体検査・予防接種状況
712	42	令和4年度新入生こころの健康調査
712	43	モーニングセミナーの実施
712	44	新型コロナウイルス感染対策に係る学生の授業出席可否等の基準
712	45	学年担任・学生のオンライン面談
712	46	学生食堂・イルチェラーズ利用制限
712	47	学生アルバイト申請書
712	48	親睦会イベント

712	49	病院見学推薦書
712	50	令和5年度国際交流支援室活動報告書
712	51	学友会会則
712	52	令和5年度学友会援助金の交付について（原議書写し）
712	53	令和5年度サークル部長会議議事要録
712	54	令和5年度学友会協議会議事要録
712	55	学友会総会議事録
712	56	30周年記念館内トレーニングルームの施設・設備の整備
713	1	令和5年度ニーズ調査
713	2	就職先等のアンケートホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/publication/ir-information.htm

712	49	令和4度臨床体験募集
712	50	医師国家試験サポート委員会構成員、医学部国試検討委員会規程
712	51	病院見学推薦書
712	52	令和4年度国際交流支援室活動報告書
712	53	学友会会則
712	54	令和4年度学友会援助金の交付について（原議書写し）
712	55	令和4年度サークル部長会議議事要録
712	56	令和4年度学友会協議会議事要録
712	57	学友会総会議事録
713	1	令和4年度ニーズ調査
713	2	就職先等のアンケートホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/dmu/publication/ir-information.htm